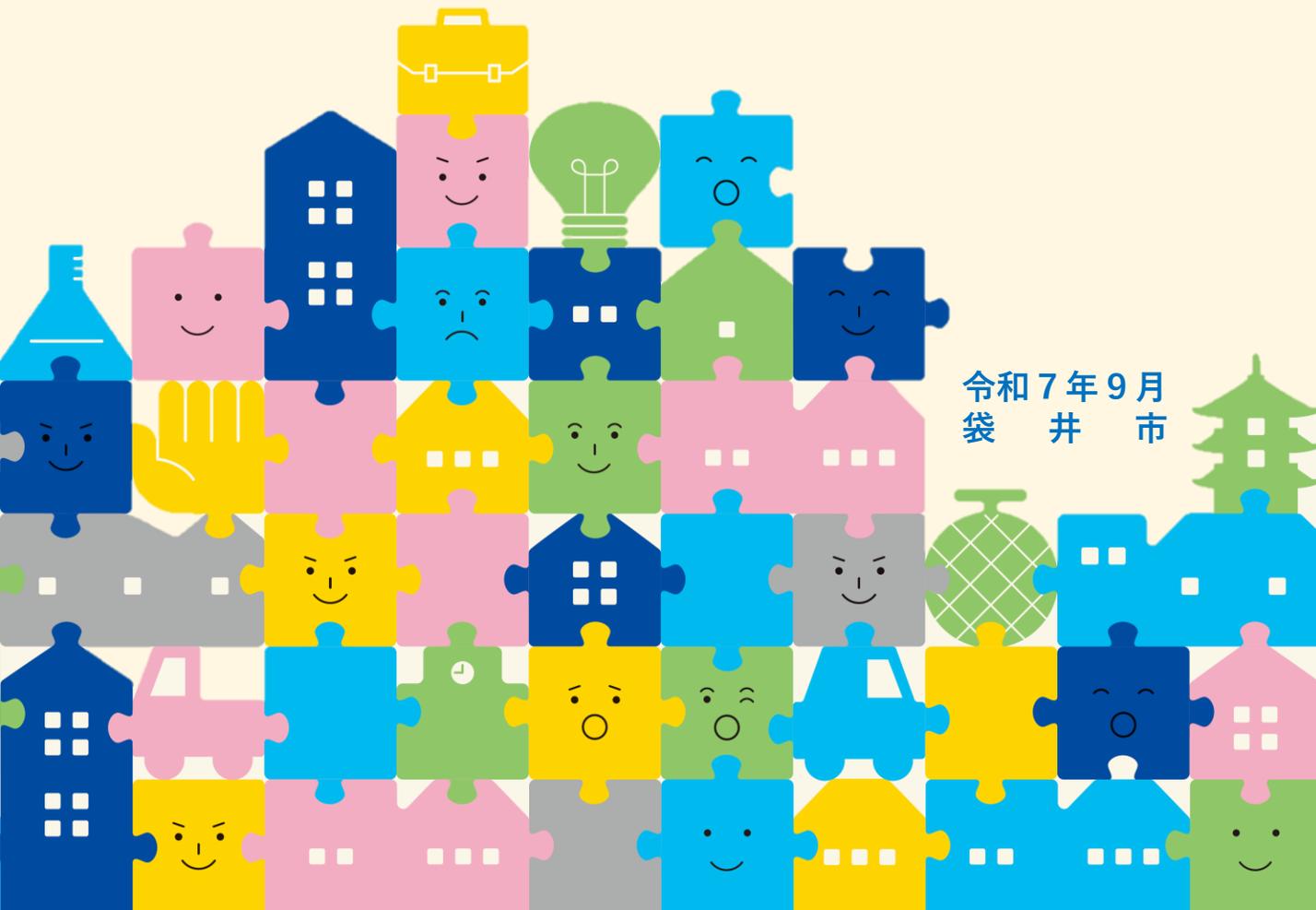


第2期輝く“ふくろい”
まち・ひと・しごと創生総合戦略

やらまいか REPORT2025

～令和6年度進捗状況報告書～



令和7年9月
袋井市

第1章	全体のまとめ	3
第2章	人口動態	4
第3章	総合戦略 [3つの挑戦/政策パッケージ]	6
挑戦1	「ふくろい人」ひとづくりへの挑戦	8
挑戦2	「しっかり稼ぐ」しごとづくりへの挑戦	14
挑戦3	「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦	20
第4章	戦略を支える取組	26
第5章	地方創生交付金の活用状況など	28

1 人口動態の概要

- (1) 本市人口は87,635人（R7.4.1現在）となり、前年比で412人の減少となったが、人口ビジョンで設定した政策達成シナリオを上回る水準を維持している。
- 自然増減については、婚姻・出産控えの傾向が続く中、**出生数は前年度より減少傾向にあり、年間600人台を切っている一方、死亡数が900人台前半と年々増加傾向にあり、自然減（▲364人）となっている。**
- 社会増減については、概ね日本人は転出傾向、外国人は転入傾向が継続しており、前年比で日本人・外国人ともに**転出者が増加していることから、社会減（▲124人）となっている。**
- (2) 子育て世帯の転出入は、若干数ではあるが、近隣市町への転出超過となった。
- (3) 合計特殊出生率や他市町との比較は、県の統計データが公表された後（今秋公表予定）改めて整理する。

2 総合戦略（政策パッケージ）の概要

総合戦略では、本市の人口ビジョンに掲げる将来目標人口の実現や総合計画の早期実現に資する取組を加速させるほか、人口減少を抑制していくための「抑制戦略」と人口が減少する社会においても市民が快適に暮らし続けられるための「適応戦略」を“3つの挑戦（政策パッケージ）”として掲げ取り組んでいる。

挑戦1 「ふくろい人」づくりへの挑戦

- ICTを効果的に活用した学びの充実と教員のICTを活用した授業力の向上を図るため、市内全ての小中学校において、**デジタル学習ドリルや学習eポータル等などのAI学習アプリの活用推進を図ることにより、児童生徒の学びに向かう力の育成に向け推進を図った。**
- 市内県立高校と特別支援学校との連携協定に基づき、**生徒自らが設定した課題について地域で活躍する大人との交流などを通じた調査・探究により、解決策を考える取組や、「キャリア教育講座」の実施により、進路選択に向けた取組を実施した。**
- 地域の活性化を図ることを目的とした**スポーツ合宿の誘致をはじめ、世界で活躍するアスリートとの交流機会の創出などにより挑戦するアスリートを支える取組**を実施した。

評価



もうひと踏ん張り

(3.0点)

挑戦2 「しっかり稼ぐ」しごとづくりへの挑戦

- **社会課題の解決や市民サービスの向上を目指し、浜松市と湖西市との連携のもと、ロボットやAI技術を活用したスタートアップ企業等への支援**を実施した。
- AI搭載の現地調査アプリ「ACTABA」を活用し、**荒廃農地を的確に把握する実証実験を行う等、荒廃農地の再生と利活用の推進にも努めたほか、市場の開拓に向けた交流機会の創出**を図った。
- 海プロフェスタやエキマチフェスタ、花マルシェなど、海や公園、広場、河川をはじめとする**公共空間を利活用し、官民が連携した賑わい創出**を図った。

評価



いい調子です

(3.9点)

挑戦3 「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦

- 人口減少と高齢化の進展による公助縮小下においても持続的な発展が可能な地域経営のあり方の実現を目指し、これまでの実証成果をもとに、**より実践的な官民の互恵的な共創関係の構築に向け、社会連携推進係を起点とした庁内外の連携の仕組みづくり**に取り組んだ。
- 夏の交通安全県民運動時には、**市と協定を結ぶスポーツチームと連携し、街頭指導及び市内小中学校で啓発品の配布**を行った。
- 台湾の伝統文化である「ランタン」をテーマに、**台湾屏東県の協力を得ながら、装飾やパネル展示、クイズラリーを「海プロフェスタ2025」とのタイアップ事業として開催するとともに、共生社会の推進**に向けた取組を充実させた。

評価



もうひと踏ん張り

(3.0点)

3 創生会議の意見

よくできました (5~4.5点)  いい調子です (4.4~3.5点)  もうひと踏ん張り (3.4~2.5点)  もっとがんばろう (2.4~0点) 

- 若年層の流出防止には、高校卒業までに地域との接点が重要である。「探究の授業」を起点にビジネスプランコンテストへの出場やアイデアを実際に商品化して販売した取組成果は素晴らしい一方で、生徒の興味関心にきめ細やかな対応をしている**教職員や関係者の負担軽減**に向け、**地域全体でこうした取組をサポートしていける関係が構築できると良い。**
- 人口が減少する社会にあっては、移住に着目することが必要。昨今では高度外国人材（大卒レベルの留学生あるいは海外大学の卒業生）と国内事業者とのマッチング支援（採用から定着への支援）が活発に行われており、**外国人材の活用（採用）は、移住による人口の増加をはじめ、新しい技術や知識、語学力（対外交渉力）をもたらずほか、外国人材受入の際の社内体制整備やコミュニケーション活性を通じた組織変革が期待できる。**
- 遠州三山やクラウンメロンなどは有名であるが、**道の駅など地域の魅力を発信できる拠点や目玉が必要。**
- ハコモノを作れば、人は呼べるが当然お金もかかる。地域内には、エコパなど知名度の高い施設もあるので、**既存のものを上手く活用しながら人を呼び込むべきと考える。**
- 地域内には生産年齢人口（現役世代）が多い印象を受ける。住宅取得などの補助制度があると定住促進に繋がるのではないかと。また、若者が県外大学に進学後、**地元に戻ってきてもらうためのUターン補助などの制度もあると良い。**
- 若年層に定住してもらうためには、子育て支援をはじめ、市内にも子どもたちが選択したくなる進学先が必要。**市内高校の魅力やイメージアップ**など、地域内の高等教育機関の充実強化が重要だと考える。

1 現状と課題

(1) 本市人口は87,635人（R7.4.1現在）となり、前年比で412人の減少となったが、人口ビジョンで設定した政策達成シナリオを上回る水準を維持している。

自然増減については、婚姻・出産控えの傾向が続く中、出生数は前年度より減少傾向にあり、年間600人台を切っている一方、死亡数が900人台前半と年々増加傾向にあり、自然減（▲364人）となっている。

社会増減については、概ね日本人は転出傾向、外国人は転入傾向が継続しており、前年比で日本人・外国人ともに転出者が増加していることから、社会減（▲124人）となっている。

(2) 子育て世帯の転出入は、若干数ではあるが、近隣市町への転出超過となった。

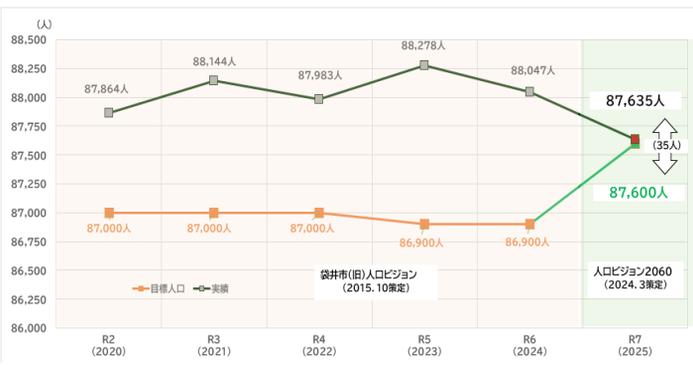
(3) 合計特殊出生率や他市町との比較は、県の統計データが公表された後（今秋公表予定）改めて整理する。

2 人口推計

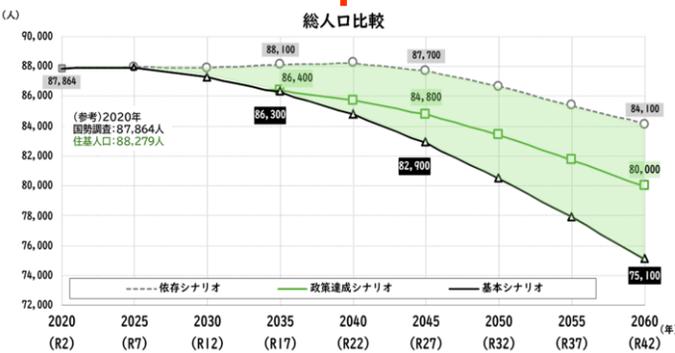
(1) 人口推移

外国人市民の転入（+229人）が多くあったものの、全体の人口は減少（前年比▲412人）

（各年4月1日現在）



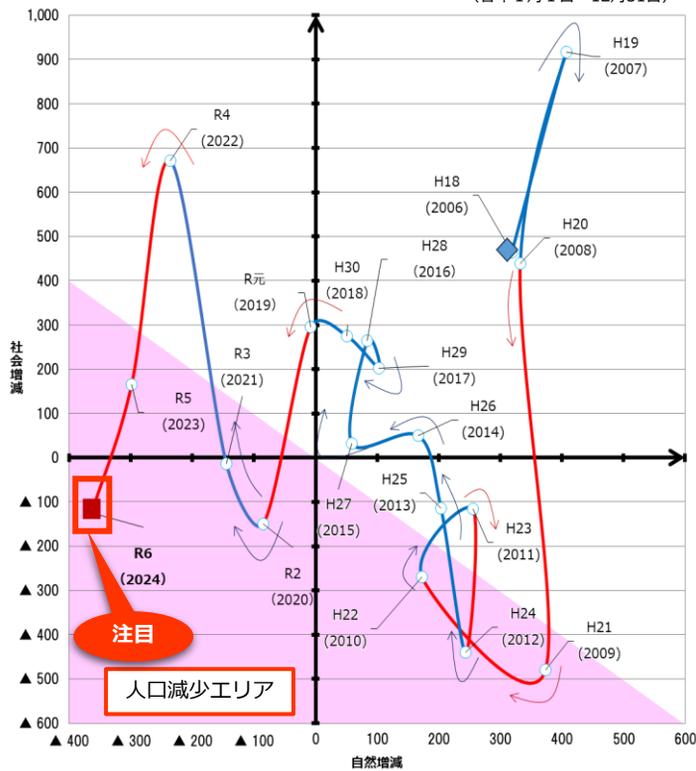
詳細
総人口比較



(3) 自然増減と社会増減

自然増減の減少数（前年比▲364人）に対し、社会増減の増加数（前年比▲124人）を下回ったため総人口は減少

（各年1月1日～12月31日）

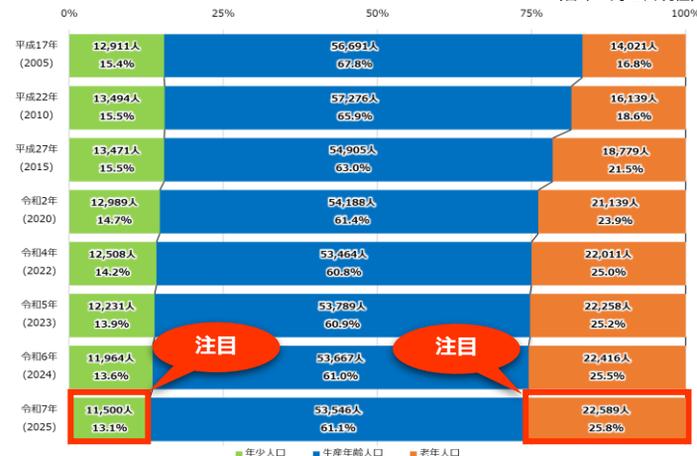


(2) 3区分別人口の推移

少子高齢化が着実に進行している。

（前年比年少人口▲0.5%、老年人口+0.3%）

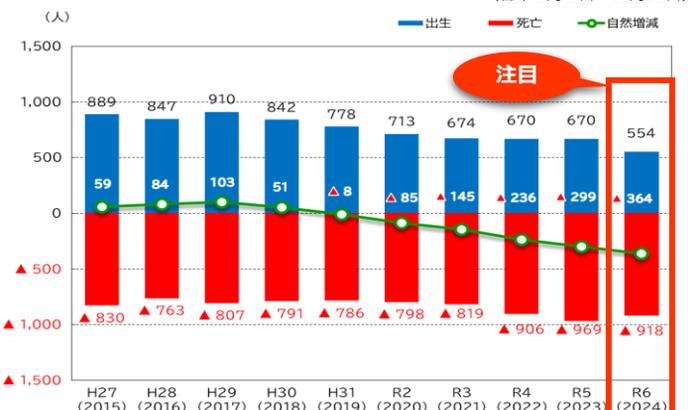
（各年4月1日現在）



(4) 自然増減の推移

出生数は554人（前年比▲116人）で大幅な減少、死亡者数は918人（▲51人）でいずれも減少

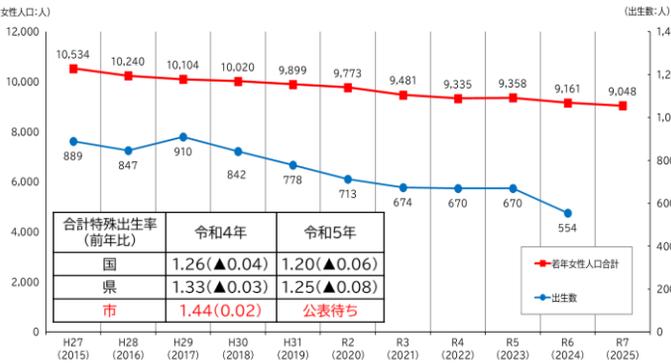
（各年1月1日～12月31日）



3 出生に関する状況

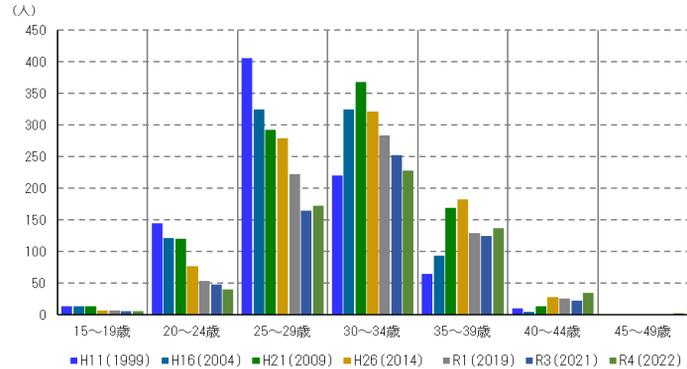
(1) 若年女性人口と出生数の推移

若年女性人口は、R5年度に増加に転じたものの、R7年度も減少傾向が続く。(前年比▲113人)



(2) 母親の5歳階級別出生数の推移

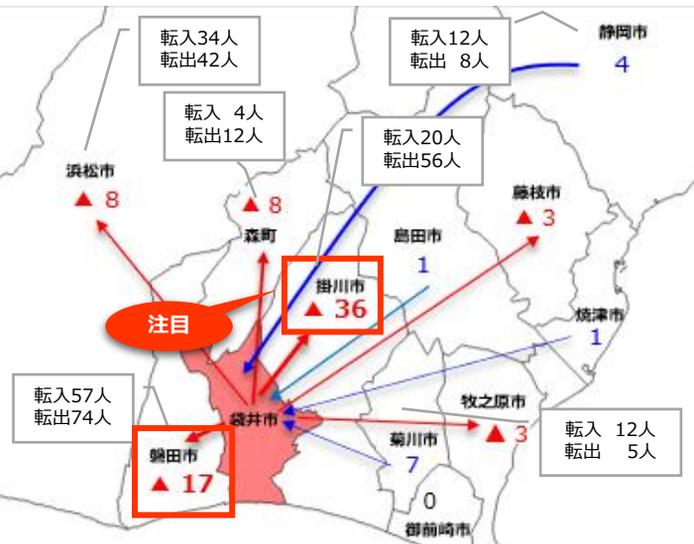
20歳代の出産は平成11年度の4割程度まで減少。30～34歳代の出産は依然最多で、晩産傾向が続く。



4 子育て世代の動向

(1) 子育て世帯(0～9歳)の転出入状況

令和6年も子育て世帯の近隣市町への転出超過となった。(令和6年1月1日～12月31日)



(2) 5歳階級別増減人数

30代・40代後半の子育て世帯の転出超過傾向があるものの、20代を中心に転入超過傾向が続いている。(各年4月1日現在)

注目	R2	R7	増減
年少			
0～4歳	3,970	3,125	-
5～9歳	4,410	3,936	▲34
10～14歳	4,609	4,439	29
生産年齢			
15～19歳	4,365	4,587	▲22
20～24歳	4,453	4,516	151
25～29歳	4,745	4,596	143
30～34歳	5,536	4,781	36
35～39歳	6,164	5,474	▲62
40～44歳	6,440	6,187	23
45～49歳	6,727	6,441	1
50～54歳	5,417	6,710	▲17
55～59歳	4,931	5,387	▲30
60～64歳	5,410	4,867	▲64

5 他市町との比較

(1) R7県人口推計とR2国勢調査の比較

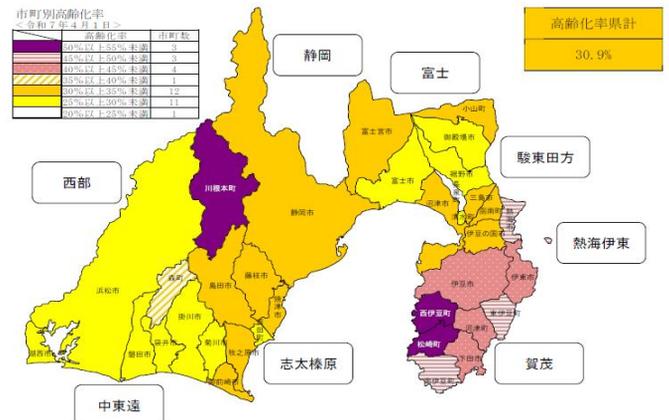
全市町で人口が減少 ※県内23市で最も減少率が低い

減少数 (人)		減少率 (%)	
1	静岡市 ▲25,307	1	川根本町 ▲17.2
2	浜松市 ▲20,186	2	西伊豆町 ▲15.6
3	沼津市 ▲9,338	3	松崎町 ▲14.4
4	富士市 ▲6,944	4	河津町 ▲12.7
5	富士宮市 ▲5,171	5	南伊豆町 ▲11.7
∴		∴	
9	磐田市 ▲4,648	29	磐田市 ▲2.9
∴		30	浜松市 ▲2.6
16	掛川市 ▲2,532	32	掛川市 ▲2.3
∴		∴	
33	袋井市 ▲662	34	袋井市 ▲0.8

(2) 県内高齢化率調査

県の高齢化率は過去最高の30.9%

※袋井市=25.8% (県内23市で一番「若いまち」)



(3つの挑戦)

(戦略の柱と施策の方向性)

(挑戦1)
「ふくろい人」
ひとづくりへの挑戦

次代の袋井を支えるために学び、挑戦する人材を地域ぐるみで育て、呼び込む環境づくりに挑む

1-1 新しい時代を生き抜く人づくり

技術革新や国際化が進展する時代に自ら考え、学び、行動する力を持った人材を育てるため、「確かな学力」を身につけるとともに「袋井で暮らす豊かさ」への理解と愛着を深める教育を地域ぐるみで取り組む。

1-2 産業や社会を支える人づくり

技術革新や働き方改革の進展により産業、社会の在り方が変化していく中で活躍できる人材を育てていくため、地域、産業界と高校・大学等が人材ニーズ等を共有・連携し、次代を担う人づくりに取り組む。

1-3 挑戦する人を応援する土壌づくり

高齢化、人口減少進展等により地域・社会の課題も山積する中、誰もが生涯を通じて学び、事業・産業や教養・文化などの活動のほか、暮らしを通じた多様な挑戦をすることで、これからも豊かさを共創し、実感し合えるまちづくりに向けたチャレンジを応援する環境を整える。

(挑戦2)
「しっかり稼ぐ」
しごとづくりへの挑戦

新技術や地域資源の活用により生産性の向上と生活の豊かさを両立する「ふくろい」ならではの暮らしの実現に挑む

2-1 新たな産業と地域社会づくり

Society5.0やSDGsなど、社会や産業の変化を好機として、地域の課題解決と持続的な産業発展を実現するため、地域内外の産学官連携等により、既存の事業活動等の効率化を図るとともに、新規・成長分野の開拓や新たな地域社会システムの革新に向けたチャレンジを進める。

2-2 稼げる農業づくり

本市が強みを持つ産業分野である農業の一層の発展を実現するため、これまでの蓄積を基盤としつつ、新しい技術の積極的な活用や異業種との連携強化による生産性向上と付加価値の創出や国内外の販路開拓、ブランド力向上に取り組む。

2-3 「ふくろい」ならではの暮らしづくり

市民が誇りと愛着を持つ生活文化、地域資源を再確認・発掘し、世界や全国を視野に本市の魅力を伝えるものに磨き上げ、市民の定着や関係人口の増加につなげていくため、商品・プログラム開発などの魅力づくりに取り組むとともに、体験・交流機会の提供や環境整備、情報交流を推進する。

(挑戦3)
「支え合い」
誰もが活躍する
まちづくりへの挑戦

人生100年時代に全ての世代、外国人市民、誰もが元気に役割をもって活躍できる社会・地域の仕組みづくりに挑む

3-1 人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」

世代を問わず生涯を通じて全ての人が意向、能力、健康状態に応じて活躍できるまちをつくるため、就労・活躍機会の拡大、健康維持・増進、環境の整備等に取り組む。

3-2 支え合う多様な仲間づくり

高齢化の進展下、介護、子育て、防災などで互いに支え合えるまちをつくるため、コミュニティセンター等を拠点として日頃から安心できる仲間づくり、互助の仕組みづくりを進める。

3-3 多様性を強みとするまちづくり

外国人市民や障がい者、女性の活躍が期待される中、高齢者、学生あるいは地域外に住む関係人口など多様な価値観を尊重し、多様性を本市の魅力や発展への活力としていくため、多文化共生、男女共同参画等の取組や環境整備を進める。

(主な取組)

(SDGs)

- 「確かな学力」向上プロジェクト（GIGAスクール構想、幼小中一貫教育ほか）
- 地域とともにある学校づくりプロジェクト
（コミュニティ・スクール推進事業、地域住民による放課後学習支援ほか）



- 高校魅力化プロジェクト(探究的な学び、職業教育の高度化ほか)
- 地域人材育成に向けた「知の拠点」活用プロジェクト
（新たな学科開設支援、デジタル人材等の育成ほか）



- ふくろい「やらまいか」プロジェクト
（アイデア創出支援、リカレント教育、創業・事業承継ほか）
- 文化芸術・スポーツ応援プロジェクト
（大会誘致、大会出場奨励制度、総合型地域スポーツクラブとの連携ほか）



- 地域の「稼ぐチカラ」向上プロジェクト
（産業イノベーションセンター設置、魅力ある個店づくりほか）
- 近未来技術等の社会実装プロジェクト
（エコパドリームプロジェクト、スマート自治体、スマートライフ推進ほか）



- 農業の未来を創るプロジェクト
（スマート農業の推進、担い手育成、地産地消の推進ほか）
- 世界で戦える農産品と新たなビジネスモデル創出プロジェクト
（販路開拓支援、付加価値向上支援、多様な販売モデルの推進ほか）



- 観光ビジネス創出プロジェクト
（新たな商品（観光ツアー）開発、スポーツイベントの開催支援ほか）
- ふくろいファンづくりプロジェクト
（SNSを活かした情報発信、ふるさと納税促進ほか）



- 生涯活躍のまちづくりプロジェクト
（人生100年時代の地域経営のあり方（仮称）の研究、健康経営の推進、高齢者の多様なニーズに応じた就労機会確保ほか）



- 支え合い・つながり創出プロジェクト
（まちづくり協議会の活動支援、NPOや市民活動団体の活動・連携支援、ICTを活用したコミュニティ形成の支援ほか）



- 「共創社会」加速化プロジェクト
（外国人市民への支援、男女共同参画社会の推進、子育てと仕事の両立支援障がい者への理解と地域の交流の支援ほか）



1-1 新しい時代を生き抜く人づくり

技術革新や国際化が進展する時代に自ら考え、学び、行動する力を持った人材を育てるため、「確かな学力」を身につけるとともに「袋井で暮らす豊かさ」への理解と愛着を深める教育を地域ぐるみで取り組む。

(1) 「確かな学力」向上プロジェクト

I C T を効果的に活用した学びの充実と教員の I C T を活用した授業力の向上を図るため、市内全ての小中学校において、デジタル学習ドリルや学習eポータル等などのAI学習アプリの活用推進を図ることにより、児童生徒の学びに向かう力の育成に向け推進を図った。

今後の課題は、**教育データの利活用による学びの更なる充実**であり、デジタル学習ドリルの導入による効果検証を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実につなげることを目指す。

I C T 活用能力とともに、英語力向上に係る取組を実施し、これからのグローバル社会を生き抜く力を養う教育を行う。

主な取組

・デジタル学習ドリルの導入と活用 [教育企画課・学校教育課]

未来の教育実証研究を経て、デジタル学習ドリルを活用した新しい学習モデルの実証研究を実施し、一人ひとりに合った学習問題が出題されるデジタル学習ドリルを導入。
小学校は2年生以上に「ドリルパーク」、中学校は全学年に「Qubena」を導入した。

・小中学校英語力向上 [学校教育課]

イングリッシュ・デイキャンブ：市内在住の小学校3～6年生及び中学生の希望者を対象として実施
開催日：7/26 開催場所：袋井市教育会館 参加者：40人
開催日：7/30 開催場所：浅羽北コミュニティセンター 参加者：20人
開催日：7/31 開催場所：山名コミュニティセンター 参加者：38人
英検チャレンジ：開催日9/28・1/18、市内4会場（4中学校）
受検者716人（小学生：112人、中学生：604人）
2級：28人、準2級：76人、3級：271人、4級：212人、5級：129人
外国人指導助手派遣：市内小中学校にALTを配置

・スマートスクール推進 [教育企画課]

小中学校にICT支援員を配置し、ICTを活用した授業支援や校務支援、デジタル教材等の作成支援を実施



イングリッシュ・デイキャンブ



協働学習ツールを活用した学習

(2) 地域とともにある学校づくりプロジェクト

市内小学校でのアース・キッズ事業や出前ECO教室の開催など、環境教育の充実に加え、市内店舗の協力で実施する小学生のお仕事体験などの実施により、地域が学校との関わりを持てる機会の創出を図った。

今後の課題は、**学校と地域の更なる連携強化や地域住民のやりがいづくり**であり、学校図書館と市立図書館のシステムを連携した「まちじゅう図書館」の取組について、地域住民の活用促進が図られる仕組みづくりなどに努めるほか、地域住民のやりがいを創出するために、市内店舗の協力を仰ぎ、小学生を対象としたお仕事体験など、地域住民が学校や児童・生徒と直接関わりの持てる機会を創出していく。

主な取組

★ = デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）

・環境教育の推進 [環境政策課]

アース・キッズ事業：市内小学校7校、小学4・5年生582人、CO₂削減量：1,323.6kg
出前ECO教室：市内小学校（実施：13回、参加者：836人）
市民団体（実施27回、参加者1,058人）
エコパを活用した環境教育：小学校12校、参加者853人

★まちじゅう図書館推進 [生涯学習課]

市立図書館と学校図書館との連携、電子図書館の導入などにより、まち全体で図書館機能を担う仕組みづくり

・小学生のお仕事体験 [産業未来課]

袋井市内の小学4～6年生36人に対し、子どもたちの職業観や就労意欲を高めるため2日間で開催

・青少年リーダー養成 [生涯学習課]

青少年指導者養成事業「次世代リーダー育成塾」高校生：全3回（12/21、1/25、2/25）参加者：32人
地域：全1回（8/1）参加者：14人



アース・キッズ



まちじゅう図書館

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合(小6:国語・算数、中3:国語・数学) [↑]【出典:学校教育課】	%	目標値	50.0	75.0	75.0	100.0	100.0	100.0	
50.0 (R1)		中止	0	0	25.0	0			
英語検定3級相当以上の資格を有する生徒の割合(中3) [↑]【出典:学校教育課】	%	目標値	23.0	27.0	31.0	35.0	40.0	40.0	
18.5 (R1)		25.3	23.9	23.6	22.3	28.9			
「授業がよく分かる」と答える児童・生徒の割合(小5～中3) [↑]【出典:学校教育課】	%	目標値	87.0	89.0	91.0	93.0	93.0	93.0	
85.0 (R1)		87.6	86.0	90.0	88.0	87.0			
「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合(小6・中3) [↑] 【出典:総合計画、教育企画課】	%	目標値	90.0	80.0	81.0	82.0	83.0	84.0	
78.4 (R1)		78.3	74.1	76.3	76.6	74.8			
「地域の行事に参加している」と答える児童・生徒の割合(小6・中3) [↑]【出典:学校教育課】	%	目標値	88.0	90.0	92.0	94.0	95.0		
86.0 (R1)		72.7	76.6	74.4	72.8	82.8			
家庭教育学級・少年学級・地域青少年育成団体の参加者数 [↑]【出典:生涯学習課】	人	目標値	900	900	950	950	1,000	1,000	
900 (R2推計)		842	960	1,006	885	843			
親スキルアップ講座の参加者の満足度 [↑] 【出典:総合計画、教育企画課】	%	目標値	91.5	93.0	94.5	96.0	97.0	98.0	
90.0 (R1)		99.1	99.1	99.8	98.7	98.0			
歴史資料館(郷土資料館・歴史文化館・近藤記念館)の利用者数 [↑] 【出典:総合計画、生涯学習課】	人	目標値	17,800	17,400	17,600	17,800	18,000	18,200	
17,000 (R1推計)		20,315	17,827	18,584	19,044	17,555			

評価	評価基準		
	達成度※1	総合評価※2	
よくできました	目標値以上	5点	5～4.5点
いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4～3.5点
もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4～2.5点
もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4～0点

総合評価

2.6点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

直感的な歴史学習を! 社会科補助資料集デジタル版サイトを開設

社会科の資料集の情報をデジタル化したサイトを開設し、市内の学校で本格利用を開始しました。

サイトでは市内の文化財を地図上に表示。子どもたちは、選択した文化財を様々な角度から観察しながら解説動画や資料にアクセスするなどして、直感的に歴史を学習することで地域への理解を深めました。

文化財を様々な角度から観察

社会科補助資料集
デジタル版サイト開設

専用サイト開設
(<https://fukuroi-digital-archive.com>)

Googleマップ上にプロットされた文化財の情報から、直観的かつ同時に豊富な情報を取得できます

デジタル版サイトの検索画面

1-2 産業や社会を支える人づくり

技術革新や働き方改革の進展により産業、社会の在り方が変化していく中で活躍できる人材を育てていくため、地域、産業界と高校・大学等が人材ニーズ等を共有・連携し、次代を担う人づくりに取り組む。

(1) 高校魅力化プロジェクト

市内県立高校と特別支援学校との連携協定に基づき、袋井高校とは、「総合的な探究の時間」を通じて、生徒自らが設定した課題について、地域で活躍する大人との交流などを通じた調査・探究により、解決策を考える取組を実施した。袋井商業高校とは、市内の事業経営者に講師を依頼し、生徒がキャリア形成のヒントを得る機会を創出するとともに、「キャリア教育講座」の実施により進路選択に向けた取組を実施した。特別支援学校とは、市内商業施設と連携し、生徒が作製した製品を店頭で販売・展示したほか、清掃などの職業体験についても実施した。

今後の課題は、**地域や社会が求める人材を育成する魅力ある学校づくり**であり、地域ぐるみでの支援体制の充実・強化に向け、多様な主体と連携強化に取り組んでいく。

主な取組

- 袋井高校、袋井商業、特別支援学校との連携事業** [企画政策課]
 袋井高校 : 総合的な探究の時間(自ら地域のことを調べ、課題と解決策を探る取組)
 - ・1年生 社会人講話(開催日:4/25、パネリスト:3人、デモレーター:1人)
 - ・1、2年生成果発表会(開催日:2/13、出席:企画政策課、産業未来課、市内民間事業者ほか)
- 袋井商業 : キャリア教育講座を実施
 開催日:10/24、講師:市内事業者3人
- 特別支援学校:無印良品ノブレスパルク袋井店との連携事業
 【開催期間】9/17、1/21・24・28
 【実施内容】学校紹介パネルや作業製品の展示・販売、清掃活動
- 海プロフェスタ2025への協力(開催日:3/22)
 - ・袋井高校:ダンス部、美術部 袋井商業:吹奏楽部 特別支援学校:高等部美術クラブ
- 青少年リーダー養成** [生涯学習課]
 青少年指導者養成事業「次世代リーダー育成塾」:全3回(12/21、1/25、2/25)
 参加者:32人(高校生)



無印×特別支援学校の取組



袋井商業キャリア教育講座

(2) 地域人材育成に向けた「知の拠点」活用プロジェクト

就職フェアでは、地元への就職を希望する学生の就職支援や企業の人材確保などの支援に取り組んだ。また、産業や地域を担う人材の育成に向け、静岡理工科大学や静岡文化芸術大学と連携し、各種講座やワークショップなどを開催したほか、静岡文化芸術大学とは海のにぎわい創出プロジェクトにおける「遊歩道」の整備に関するワークショップの監修などでの連携を図った。

今後の課題は、**市民、企業、大学、行政の実践的な取組における更なる連携強化**であり、地域学講座や海のにぎわい創出プロジェクトなどの取組を活用しながら、市、大学、地元企業等との連携強化と新たな交流機会の創出を図ることで、産業や地域を担う人材育成に取り組んでいく。

★=デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

主な取組

- 静岡理工科大学との連携事業** [企画政策課、生涯学習課、産業未来課]
 地域学講座 : 「ふるさと納税を活用して袋井市の魅力を伝えよう」をテーマに開催し、フィールドワークやグループワークを通じて、ふるさと納税についての現状や課題を把握し、学生目線で袋井市の魅力を掘り起こし、異業種のモノや体験を掛け合わせた新たな体験型返礼品の提案を行った。
 開催日8/6、8/7、8/15、8/16 参加者27人(大学生22人、市職員5人)
 学術交流振興基金活用事業:市民体験入学や公開講座、小学生を対象とした実験講座「お理工塾」、中学生学術交流事業として中学生プログラミング教室ほか
 ふくろい産業イノベーション推進事業:コワーキングスペース「BIRDS Coworking×FUKUROI」の設置準備



いわた・ふくろい就職フェア

- ★静岡文化芸術大学連携** [維持管理課、企画政策課]
 海のにぎわい創出プロジェクト:遊歩道の整備に係るワークショップの監修・アドバイザー

- 高校生と企業を結ぶ合同企業説明会** [産業未来課]
 開催日:3/19、参加企業:70社、参加者:296人(高校2年生)
- いわた・ふくろい就職フェア** [産業未来課]
 開催日:2/21、参加企業:50社、参加者:58人(R7.3以降卒業予定の大学、短大、専門学校生等)



中学生プログラミング教室

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
「高校生と企業を結ぶ合同企業説明会」及び「いわた・ふくろい就職フェア」への市内参加企業数 [↑]【出典：総合計画、産業未来課】	社	目標値	31	32	34	36	38	40	
		31 (H30)	23	32	33	33	34		
市内高校及び大学の就業率 [↑] 【出典：産業未来課】	%	目標値	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	
		97.8 (H26-30 平均)	98.7	98.0	98.2	98.2	97.3		
理工科大学との協働活動の実施件数（累計） [↑]【出典：企画政策課】	件	目標値	5	7	9	12	15	27	
		3 (H30)	7	11	15	21	28		
市民を対象にした学習機会数 [理工科大学主催] [↑]【出典：生涯学習課】	回	目標値	38	38	39	39	40	45	
		37 (R1)	14	25	32	33	31		
高校生と協働した事業・イベント数（累計） [↑]【出典：企画政策課】	回	目標値	2	4	6	8	10	23	
		4 (R1)	4	8	11	17	25		
地域防災への高校生の参加者数 [↑] 【出典：危機管理課】	人	目標値	1,900	1,950	2,000	2,050	2,100	2,150	
		1,902 (R1)	0 ※役員のみ	未実施	1,902	2,022	2,029		

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
		目標値以上	5点	5～4.5点
	よくできました	目標値以上	5点	5～4.5点
	いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4～3.5点
	もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4～2.5点
	もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4～0点

総合評価

3.3点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

市内高校と特別支援学校が 各校の特徴を活かした地域との連携を実践！

近年、市内高校・特別支援学校と地域や民間企業との様々な連携事業が展開されてきています。

本市では、引き続き、市内高校・特別支援学校に地域を学びのフィールドとして提供し、関係者との相互理解を深める機会を提供していきます。

そうすることで、生徒たちが学びの中で地域の課題を発掘し、人とつながることの楽しさを見つけることとなり、その課題解決策や提言が地域連携につながることを目指し取り組んでいきます。

高校の魅力化向上プロジェクト 各校の特長を活かした地域との連携を実践



<袋井高校>

- 総合的な探究の学習の支援
- 市ビジネスプランコンテスト 出場
- 海プロフェスタなどへの出演

FUKUROI BIZCON-CROWN 2025

<袋井商業高校>

- キャリア教育講座
- 海プロフェスタ/プロサックス奏者とのコラボ
- 袋商ショップ/独自店舗

うみでらFLOOR

<袋井特別支援学校>

- 無印良品@ノブレスマルク袋井 生徒が製作した作業製品の展示・販売、職業体験(清掃業務ほか)
- 地域販売会@袋井体育センターほか
- 海プロフェスタでのTシャツアート展への出展

海カヌー 2025

1-3 挑戦する人を応援する土壌づくり

高齢化、人口減少進展等により地域・社会の課題も山積する中、誰もが生涯を通じて学び、事業・産業や教養・文化などの活動のほか、暮らしを通じた多様な挑戦をすることで、これからも豊かさを共創し、実感し合えるまちづくりに向けたチャレンジを応援する環境を整える。

(1) ふくろい「やらまいか」プロジェクト

全国で活躍する起業家や投資家等と市内事業者のネットワークを構築し事業連携を促進するため、スタートアップツアーを開催した。さらには、本市初のビジネスプランコンテスト「FUKUROI BiZCON-CROWN2025」を開催し、若い起業家の育成と新事業創出による地域産業の活性化に取り組んだほか、創業希望者や経営者などを対象に、各種経営セミナーや創業支援相談を実施した。

今後の課題は、**新たなビジネスなどを通じて地域に貢献したいという創業意欲の醸成と、その想いを形にするための多様な主体による継続的な支援**であり、挑戦する人を応援し続けるまちを目指し、社会・経済情勢の変化に的確に対応しつつ、地域のニーズや実情に即した支援の在り方をさらに研究し、深化させていく。

★=デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

主な取組

・創業支援の推進〔産業未来課〕

- 創業者支援事業費補助金：4件 120万円（各30万円）
- 創業セミナー：開催日 9/7、9/21、9/28、10/19、10/26（全5回）参加者延べ 129人
- 創業相談会（個別相談）：開催期間 10月～2月、相談者 19人（全38回）
- 創業相談会（伴奏支援）：開催期間 10月～2月、支援者 7人（全28回）

・市民活動団体やNPO法人等の活動支援〔協働まちづくり課〕

- 市民活動団体等の提案事業の協働実施：補助事業・連携事業として9事業実施
- NPO法人化への支援：情報提供や認証申請等を支援
- 「ふらっと」の管理運営：活動情報発信、活動団体のマッチングの相談対応など

★地域経済循環分析事業〔企画政策課〕

地域経済の実態を把握する『地域経済循環分析』を実施し、関係者間の目揃えを行うとともに、地域の稼ぐ力や地域住民の所得向上に係る今後の方向性に関する意見を集める契機とするため、政策勉強会を開催した。

・ビジネスプランコンテスト開催事業〔産業未来課〕

- 開催日：3/15、応募件数：一般 35件、学生 7件
- 最終結果：一般 最優秀賞：1件 優秀賞：2件、学生 最優秀賞：1件 優秀賞：1件



FUKUROI BiZCON-CROWN2025



SHIZUOKA STARTUP TOUR 2024 in 袋井編

(2) 文化芸術・スポーツ応援プロジェクト

地域の活性化を図ることを目的としたスポーツ合宿の誘致をはじめ、アスリートを「食」でサポートする「袋井スポーツ飯」の取組、世界で活躍するアスリートとの交流機会の創出などにより挑戦するアスリートを支える取組などを実施した。また、子ども達が文化活動の楽しさを体験できるよう大学と連携し、創作体験ワークショップなども実施した。

今後の課題は、**スポーツや文化・芸術に触れる機会の更なる創出**であり、スポーツや文化・芸術活動の振興を通じた、市民の参画や団体等との連携を促進することにより、更なる交流人口の拡大を図り、暮らしの豊かさの創出に取り組んでいく。

★=デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

主な取組

・スポーツツーリズム推進事業〔スポーツ政策課〕

- 袋井スポーツ飯の開発：6飲食店が考案した計7メニュー（公認スポーツ栄養士監修）を認定。
- スポーツ合宿の誘致：4件 エアロビック（日本エアロビック連盟） 柔道（日本女子体育大学）
女子ソフトボール（大津商業高等学校） ラグビー（東京農業大学）
- ジュニアアスリート向け食事講座：開催日 7/21 参加者 27名

・袋井クラウンメロンマラソン大会〔スポーツ政策課〕

- フルマラソン、10km、3km：開催日 12/8、参加者 約4,000人 市内を巡るコース

・スポーツレガシーの創出〔スポーツ政策課〕

- トップアスリート交流事業 卓球：参加者 中学生：44人、講師：Tリーグ男子静岡ジェード 森園政崇
剣道：参加者 小・中学生：70人、講師 近本巧、鈴木剛
- FUKUROI SPORTS DAY 2024の開催（14種目体験イベント〔ラグビー、マウンテンバイクなど〕）
11/17（人数：約600人 場所：さわやかアリーナ）

★静岡文化芸術大学連携（生涯学習課）

- えほんワークショップ：開催日 8/17 参加者 27人

★東京藝大交流事業（生涯学習課）

- モザイクタイルを用いて「袋井の四季」を表現したモザイク画を組み合わせて、パブリックアート（フクロウ）を制作しメロウプラザに設置 「モザイク画でパブリックアートをつくろう！」 開催日：8/3、8/4 参加者 50人



トップアスリートとの交流



パブリックアートの制作

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
協働まちづくりセンターの登録団体数（市民活動団体）〔↑〕【出典：総合計画、協働まちづくり課】	団体	目標値	50	50	50	50	50	50	
		53 (H30)	45	44	47	44	46		
NPO団体等が企業と連携し実施した事業数〔↑〕【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	10	8	9	10	11	12	
		11 (H30)	1	8	12	13	6		
協働まちづくり事業の提案件数（累計）〔↑〕【出典：協働まちづくり課】	件	目標値	27	37	47	56	65	75	
		17 (R1)	23	30	40	51	60		
全国スポーツ大会の出場者数（累計）〔↑〕【出典：総合計画、スポーツ政策課】	件	目標値	90	62	126	192	260	330	
		59 (R1)	18	62	118	178	223		
市内の運動施設の利用者数（エコパを除く）〔↑〕【出典：総合計画、スポーツ政策課】	人	目標値	750,000	605,000	610,000	615,000	620,000	625,000	
		551,962 (R1)	487,943	583,346	692,561	741,335	755,139		
図書館の個人貸出利用者数〔↑〕【出典：総合計画、生涯学習課】 ※R6より、電子図書館ログイン数も含む	人	目標値	150,000	140,000	141,500	143,000	144,500	146,000	
		136,631 (H30)	138,965	150,172	150,239	134,116	152,271		
月見の里学遊館（水玉プール除く）とメロープラザの利用者数〔↑〕【出典：総合計画、生涯学習課】	人	目標値	200,000	128,800	144,800	161,400	161,900	162,400	
		157,744 (H30)	59,935	89,178	116,166	88,489	121,678		
全国文化芸術大会出場者数（累計）〔↑〕【出典：生涯学習課】	人	目標値	10	15	20	25	30	35	
		4 (R1)	5	8	11	15	20		

評価	評価基準		
	達成度※1		
	達成度	総合評価※2	
よくできました	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
いい調子です	目標値未滿～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
もうひと踏ん張り	70未滿～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
もっとがんばろう	基準値未滿	1点	2.4 ～ 0点

総合評価

3.0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

スポーツ振興や市民の健康増進に向けて 明治安田生命保険相互会社と連携協定！

全国で初めてとなるスポーツを核とした地域活性化を目指すパートナー協定を明治安田生命保険相互会社と締結しました。

地元Jリーガーを招いたサッカー教室やアスリートとの食育事業など、Jリーグのタイトルパートナー企業の知見を活かした取組を展開し、スポーツ振興や市民の健康増進に向けて連携して取り組んでいきます。

明治安田生命保険相互会社との連携協定
 ～スポーツ振興や市民の健康増進に向けて～
 スポーツを核とした地域活性化に資するパートナー連携協定締結

全国初
 スポーツに特化した協定

スポーツを核とした地域活性化

地元Jリーガーを招いたサッカー教室やアスリートとの食育事業など、Jリーグのタイトルパートナー企業の知見を活かした取組を展開

2-1 新たな産業と地域社会づくり

Society5.0やSDGsなど、社会や産業の変化を好機として、地域の課題解決と持続的な産業発展を実現するため、地域内外の産学官金連携等により、既存の事業活動等の効率化を図るとともに、新規・成長分野の開拓や新たな地域社会システムの革新に向けたチャレンジを進める。

(1) 地域の「稼ぐチカラ」向上プロジェクト

社会課題の解決や市民サービスの向上を目指し、浜松市と湖西市との連携のもと、ロボットやAI技術を活用したスタートアップ企業等への支援を実施したほか、地元企業に対して大学の教員等による技術課題の解決支援などを行った。

今後の課題は、**社会潮流の変化への対応と中小企業の成長をいかに結びつけることができるか**であり、産学官金が連携し伴走型の企業支援に取り組んでいくほか、新たなイノベーション喚起に向け、スタートアップ企業と地元企業のマッチングを促進し、地域や事業所が抱える課題解決を図るとともに、地域内取引の拡大を促すよう取り組んでいく。

主な取組

- ・ふくろい産業イノベーション推進事業〔産業未来課〕
コワーキングスペース「BIRDS Coworking×FUKUROI」の設置準備
企業と大学教員との技術相談：22件 企業と大学との共同研究：7件
ふくろい産業イノベーションピッチ：開催日 12/13、発表者 6人 参加者 60人 など
- ・スタートアップ実証実験サポート支援事業〔産業未来課〕
実施期間：4月～9月 プロジェクト採択者：Soteria8 Co., Ltd.（ソテリア8株式会社）
実験内容：排水機場の劣化状況をドローン・AIoTの活用により可視化し修繕箇所を早期発見
実施期間：10月～3月 プロジェクト採択者：株式会社防災AI
実験内容：農業用排水路の現状確認のため、衛星データ等を活用した劣化状況診断AIモデルの開発
- ・経営力強化推進アドバイザー設置〔産業未来課〕
実施期間：4月～3月、相談事業者：43事業者（うち経営革新計画承認：16事業者）
- ・ふくろい観光ルネッサンス事業〔商業観光課〕
観光ブランド推進事業、サイクリングマップ『Fukuroi Cycling Life』の作成、夜宵プロジェクト
- ・創業支援の推進〔産業未来課〕
創業者支援事業費補助金：4件 120万円（各30万円）
創業セミナー：開催日 9/7、9/21、9/28、10/19、10/26（全5回）参加者延べ 129人
創業相談会（個別相談）：開催期間 10月～2月、相談者 19人（全38回）
創業相談会（伴奏支援）：開催期間 10月～2月、支援者 7人（全28回）
- ・中心市街地等空き店舗対策事業〔商業観光課〕
空き店舗対策事業補助金：継続 9件、新規 3件



「BIRDS Coworking×FUKUROI」
(2025.5月開設)



ふくろい観光ブランド推進事業

(2) 近未来技術等の社会実装プロジェクト

LPWA（無線通信技術）を活用し、小規模河川などの水位データの収集のほか、デジタルに不慣れな方でも安心してマイナンバーカードによる申請手続きができるよう、浅羽支所内に申請手続きの相談や電子申請の入力補助を行う「らくらくサポート窓口」を設置するとともに全庁展開に向けた検討を行うなど、新たな技術を活用した課題解決へのアプローチについて推進を図った。

今後の課題は、**急速に進展する革新的技術をいかに地域課題解決に活用していけるか**であり、関係企業や各種団体と連携し、新たな技術を組み入れたサービスの社会実装に向けた取組を実施・支援していく。

主な取組

- ・無線通信技術を活用した地域IoTの推進〔デジタル政策課〕
水田の水管理や排水機場やため池などの農業用施設で利用中の水位監視のためのセンサーやカメラなどのIoT機器とLPWAを組み合わせたシステムの横展開に向けて、浅羽地区（豊住・富里）において、市が管理する末端用水施設に水位センサーを設置し、水位を遠隔監視することで水管理の省力化に向けた検証を行った。
- ・AIの利活用〔デジタル政策課〕
生成AIの利活用による行政事務の効率化を目指し、職員の文章要約や校正等を支援する生成AIツールを導入した。
利用回数：54,281回
- ・フロントヤード改革の推進〔デジタル政策課〕
令和7年3月に今後の市役所窓口のあり方を示す「袋井市フロントヤード改革基本方針」を策定した。
浅羽支所の空きスペースへ「らくらくサポート窓口」を設置し、コンシェルジュによる案内のもと、マイナンバーカードを活用した「書かない窓口」「行かない窓口」の実装に向けた効果検証を行った。
- ・荒廃農地解消事業〔農政課〕
令和5年度から導入したAI判定機能搭載の現地調査アプリ「ACTABA」を活用し、タブレット端末による精緻な現況調査実施の結果、市内全域で約2haの荒廃農地の解消を確認した。



IoT機器とLPWAを組み合わせたシステム



らくらくサポート窓口

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
製造品出荷額等（従業員4人以上）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	億円	目標値 5,880 (H29)	5,880 (R1)	5,960 (R2)	6,040 (R3)	6,130 (R4)	6,200 2月頃公表	6,600	—
企業立地件数（製造業）（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 1 (H30)	1	4 3	6 4	8 5	10 6	12	
静岡理工科大学と市内企業の共同研究件数（累計）〔↑〕【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 5 (H30)	1	10 6	15 22	20 33	25 40	30	
経営革新計画の承認件数（製造業）（累計）〔↑〕【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 2 (H30)	13	14 18	21 30	28 32	35 36	42	
市、商工団体、金融機関の支援による創業件数（累計）〔↑〕【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 41 (H30)	47	45 85	90 163	180 210	225 275	270	
よろず支援拠点への相談件数（袋井市）（累計）〔↑〕【出典：産業未来課】	件	目標値 154 (H30)	236	154 415	308 511	462 682	770 調査不可 (拠点閉鎖)	920	—
卸売業・小売業及び宿泊業・飲食サービス業の売上（収入）金額〔↑〕【出典：産業未来課】	億円	目標値 2,397 (H28)	2,397	2,400 2,397	2,500 3,091	2,500 3,091	2,500 3,091	2,500	
満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合〔↑〕【出典：市民意識調査】	%	目標値 26.8 (H30)	36.3	30.0 42.8	40.0 39.1	45.0 37.8	50.0 38.6	50.0	
近未来技術等を活用した実証事業数（累計）〔↑〕【出典：企画政策課、デジタル政策課】	件	目標値 5 (R1)	4	7 8	9 11	11 12	13 13	16	

評価	評価基準		
	達成度※1		総合評価※2
	目標値以上	5点	5～4.5点
よくできました	目標値以上	5点	5～4.5点
いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4～3.5点
もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4～2.5点
もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4～0点

総合評価

4.4点

TOPICS

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

「遠州三山 風鈴まつり」が ふじのくにしずおか観光大賞受賞！

遠州三山（可睡齋・油山寺・法多山）と袋井市観光協会が「ふじのくにしずおか観光大賞」を受賞しました。「ふじのくにしずおか観光大賞」は静岡県観光協会が静岡県の観光振興に多大な貢献をし、他の模範となる取組をした団体を表彰する制度です。

夏の風物詩である「風鈴」を新たなコンテンツとして「遠州三山風鈴まつり」を開催し、風鈴まつりでの各寺院の個性ある飾り期間限定商品（御朱印、スイーツ）、三山を巡るルートづくりを企画し、メディア・SNS等の情報発信による周知に努め、地域振興と観光誘客に大きく貢献したことで表彰されました。



2-2 稼げる農業づくり

本市が強みを持つ産業分野である農業の一層の発展を実現するため、これまでの蓄積を基盤としつつ、新しい技術の積極的な活用や異業種との連携強化による生産性向上と付加価値の創出や国内外の販路開拓、ブランド力向上に取り組む。

(1) 農業の未来を創るプロジェクト

農業の担い手を育成するため、農業を取り巻く環境変化と自らの農業経営の強みや弱みを踏まえた現状の分析と経営改善方法を習得する「ふくろい農業未来塾」を引き続き開催した。また、AI搭載の現地調査アプリ「ACTABA」を活用し、荒廃農地を的確に把握する実証実験を行うなど、荒廃農地の再生と利活用の推進にも努めた。

今後の課題は、**農業者の経営力強化や担い手の確保をはじめ、生産性の向上等**であり、引き続き県やJAなどと連携しつつ、本市の持つ「農」の魅力を「農産物直売フェア」などのイベントのほか、SNSなどを活用しながら積極的に情報発信することで、担い手の確保や生産性の向上に取り組んでいく。

主な取組

- 担い手農業者育成支援**【農政課】
 農業次世代人材投資資金交付事業 : 交付件数3件
 新規就農者総合育成対策（経営開始資金） : 交付件数2件
 袋井市クラウンメロン経営継承支援事業交付金 : 交付件数2件
- 耕作放棄地の解消**【農政課】
 耕作放棄地対策事業費補助金（再生作業…市1/2、施設補完整備…市1/4）
 農業者2経営体、笠原地区で50a、浅羽南地区10a 解消
 現地調査アプリ「ACTABA」 : タブレット端末を活用した農地の利用状況調査
- ふくろいマルシェ新茶フェア開催**【農政課】
 開催日：6/9、さわやかアリーナ 出店：20茶工場
- 学校給食への地場産品活用促進**【おいしい給食課】
 地産地消率：目標値33.0%、実績値32.47%
 収穫体験 : 実施22件、小学校9校、たけのこ・グリーンピース・じゃがいも・キャベツなど



ふくろいマルシェ新茶フェア



チンゲンサイの収穫体験

(2) 世界で戦える農産品と新たなビジネスモデル創出プロジェクト

全国的に需要が拡大している「ほうじ茶」について、引き続き、袋井産茶葉100%使用のほうじ茶ペットボトル飲料の製造販売に取り組んだほか、市場のニーズに合わせた農産物の生産や販売、さらにはPRイベント等を活用した新たなブランディングなど、市場の開拓に向けた交流機会の創出を図った。

今後の課題は、**市場ニーズに合った商品の生産・流通・販売などの体制の構築**であり、さらなる販路拡大に向け農産品のブランド力強化のため、付加価値を向上し他産地との差別化を図り、時代に合った生産・流通システムの構築など、新たなビジネスモデルの創出に必要な支援に取り組んでいく。

主な取組

- ふるさと納税を通じたシティプロモーション事業**【企画政策課】
 新規返礼品として、パナソニックの洗濯機のほか、法多山の季節限定厄除けだんごの引換券、エコパで開催されるジュピロ磐田の観戦チケットなど、計215品を新たに追加した。また、ふるさと納税申込サイト内の特集ページや各サイトで発行するカタログへの掲載、首都圏での出店イベントによるPR活動などを実施した。
- 付加価値向上支援**【農政課】
 茶葉支援対策事業費補助金 : 交付件数14件
 クラウンメロン振興協議会補助金
 袋井茶振興協議会補助金
 ふくろいブランド米開発販売促進事業補助金 : 交付件数1件
- 6次産業化の促進**【農政課】
 6次産業化促進支援事業費補助金 : 交付件数5件
- 主要農産物（温室メロン・茶・米）の振興**【農政課、企画政策課】
 温室メロン : 海外（香港、アメリカ等）での市場調査・商談
 少量培地方式（ポット栽培）による新しい栽培技術の試験栽培、検証 など
 茶 : 茶葉支援対策事業費補助金（交付件数：14件）
 ほうじ茶の新たな展開に向けた取組 など
 米 : 経営所得安定対策等の実施による農家所得の向上 など



ふるさと納税の新規返礼品開発



メロンの新しい栽培技術

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
主要農産物産出額 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	億円	目標値 72.8 (H30)	72.2	71.9	71.6	71.3	71.0	72.0	
利用権設定面積 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	ha	目標値 978 (H30)	1,100	1,063	1,088	1,113	1,138	1,163	
農業法人数 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	法人	目標値 37 (H30)	40	39	40	41	42	43	
耕地面積 [↑] 【出典：農政課】	ha	目標値 3,300 (H29)	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	
新規就農者数 (累計) [↑] 【出典：農政課】	人	目標値 12 (H29)	12	24	36	48	60	72	
耕作放棄地の解消面積 (累計) [↑] 【出典：農政課】	ha	目標値 11.2 (H30)	12	24	36	48	60	72	
お茶の出荷量 (袋井地区農協共販実績) (累計) [↑] 【出典：農政課】	t	目標値 1,008 (H30)	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	6,000	
お茶の年間平均単価 (袋井地区農協共販実績) [↑] 【出典：農政課】	円	目標値 657 (R1)	660	660	660	660	660	660	
お茶の海外輸出货量 (累計) [↑] 【出典：農政課】	t	目標値 6 (H30)	6	12	18	24	30	36	
クラウンメロンの市場出荷箱数 (1箱6個入) (累計) [↑] 【出典：農政課】	箱	目標値 277,831 (H30)	277,800	555,600	833,400	1,111,200	1,389,000	1,500,000	
クラウンメロンの年間平均出荷額 (箱単価) [↑] 【出典：農政課】	円	目標値 11,026 (H30)	11,250	11,500	11,750	12,000	12,000	12,000	
クラウンメロン加工品取扱企業数 [↑] 【出典：農政課】	社	目標値 53 (H30)	53	53	53	53	53	53	
学校給食における市内産野菜の使用率 (重量ベース) [↑] 【出典：総合計画、おいしい給食課】	%	目標値 34.2 (H30)	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	

評価	評価基準	
	達成度※1	総合評価※2
よくできました	目標値以上	5点
いい調子です	目標値未満～70以上	4点
もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点
もっとがんばろう	基準値未満	1点

総合評価

3.4点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

袋井産茶葉が全国チェーンのドラッグストアのプライベート商品に初採用！

「マツモトキヨシ」や「ココカラファイン」を運営するマツキヨココカラ & カンパニーのプライベート商品『濃い緑茶』【機能性表示食品】に袋井産茶葉が採用されました。

今後こうした袋井ブランドを全国に幅広く発信していきます。



2-3 「ふくろい」ならではの暮らしづくり

市民が誇りと愛着を持つ生活文化、地域資源を再確認・発掘し、世界や全国を視野に本市の魅力伝えるものに磨き上げ、市民の定着や関係人口の増加につなげていくため、商品・プログラム開発などの魅力づくりに取り組むとともに、体験・交流機会の提供や環境整備、情報交流を推進する。

(1) 観光ビジネス創出プロジェクト

海プロフェスタやエキマチフェスタ、花マルシェなど、海や公園、広場、河川をはじめとする公共空間を利活用し、官民が連携した賑わい創出を図ったほか、袋井駅周辺や観光施設のライトアップなど、誘客や観光消費の拡大を図った。

今後の課題は、**域内の消費拡大に向けた地域資源の有効活用と連携強化**であり、多様な主体との更なる連携強化を図り、ふくろいならではの賑わいづくりに取り組んでいくとともに、地域資源を活用したビジネスの担い手育成・確保などの支援により、地域内消費の拡大に取り組んでいく。

★=デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

主な取組

★海のにぎわい創出プロジェクト [企画政策課、維持管理課、スポーツ政策課]

海プロフェスタ2025実施：開催日 3/21・22（休憩・交流施設等オープニングセレモニー）
袋井幸浦の丘プロジェクト：地元住民向けニュースレター作成など

★公共空間を活用した賑わい創出 [維持管理課、生涯学習課、企画政策課、都市計画課]

花マルシェ：ふくろい宿de花マルシェ（開催日：6/8、袋井宿場公園）
エキマチフェスタ：開催日 6/8・11/23、袋井駅周辺
ミズベリング：原野谷川de夕涼み（開催日：8/10、参加者：約200人）
原野谷川 de おさんぼマルシェ（開催日：11/23、参加者：約300人）
青空図書館：開催日 11/10、参加者 約1,000人、浅羽図書館

・ふくろい夜宵プロジェクト事業 [商業観光課]

イベント「ふふふの袋井」：実施期間 1/15～2/22
袋井怪談や茶菓子の手作り体験、様々なお茶飲み比べ など
袋井駅周辺ライトアップ：実施期間 11/23～1/31
観光施設ライトアップ（法多山、可睡齋）：実施期間 11/23～12/1 など

・ふくろい観光ルネッサンス事業 [商業観光課]

遠州三山風鈴まつり：実施期間 5/25～9/1
遠州三山紅葉めぐり：実施期間 11月中旬～12月上旬
可睡齋ひなまつり：実施期間 1/1～3/31



袋井駅周辺ライトアップ



ふくろい宿de花マルシェ

(2) ふくろいファンづくりプロジェクト

ふるさと納税の申込サイトの充実・強化をはじめ、新たな返礼品の充実・強化を図るとともに、首都圏向けのシティプロモーション活動についても積極的に取り組んだ。また、「移住・交流ポータルサイト」の運営を通じて、移住検討者向けに向けたPRだけでなく、関係人口の創出や拡大に向けた情報発信を行った。

今後の課題は、**地域づくりの担い手として期待される関係人口の創出・拡大**であり、多様な主体と連携した、多様なチャネルや機会を通じて、新たな仲間づくりに取り組んでいく。

主な取組

・ふるさと納税の推進 [企画政策課]

申込サイト：全19サイト
新規返礼品：215品追加（パナソニックの洗濯機のほか、法多山の季節限定厄除けだんごの引換券、エコパで開催されるジュビロ磐田の観戦チケット など）
寄付実績：63,800件、1,520,488千円

・地域資源プロモーション [企画政策課]

袋井市キャラクター「フッピー」が映画『もし徳』ご当地偉キャラ総選挙で入賞（上位3位以内）
さとふる祭りへの出店：実施日 10/25、ふるさと納税返礼品等を通じた首都圏向けのリアルイベント
スポーツチームと連携したプロモーション活動：
エコパ開催のジュビロホームゲーム（三光祭）や静岡ブルーレヴズホームゲームでのイベント出店など

・姉妹都市・友好都市交流 [秘書課]

市民訪問や学校給食による交流促進
情報発信：広報紙への掲載（塩尻市）、SNSでの情報発信（北杜市）、PRポスター作成等
袋井市民訪問（塩尻市）：実施日 10/19、参加人数 28人
ヒルズポロ市長との交流：面談日 10/3、可睡齋見学、着物・茶道体験、可睡齋の精進料理

・移住・定住促進事業 [企画政策課]

移住交流ポータルサイトの運営
「静岡まるごと移住フェア」への出展：出展日 7/7、2/2・東京交通会館



ふるさと納税過去最高13.7億円突破



ヒルズポロ市長が本市を訪問

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
観光交流客数 [↑] 【出典：総合計画、商業観光課】	千人	目標値 4,753 (H30)	5,075	5,100	5,125	5,150	5,175	5,000	
観光案内所の来場者数 [↑] 【出典：商業観光課】	人	目標値 20,172 (H30)	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000	24,000	
ホームページ等のアクセス数（観光関係） [↑] 【出典：総合計画、商業観光課】	件	目標値 583,522 (H30)	800,000	363,000	413,000	463,000	513,000	563,000	
市公式SNS「いいね」の数 [↑] 【R6～：市公式SNS「フォロー」の数 [↑]】 【出典：企画政策課】	件	目標値 35,459 (H30)	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000 18,300	150,000 20,100	
全国地域ブランド調査における魅力度の順位 [↑] 【出典：企画政策課】	位	目標値 600 (H30)	540	480	420	360	300	500	
ふるさと納税件数 [↑] 【出典：企画政策課】	件	目標値 1,240 (H30)	7,800	8,100	8,400	8,700	9,000	60,000	
ふれあい夢市場の来場者数 [↑] 【出典：市民サービス課】	人	目標値 18,000 (R1)	19,000	19,250	19,500	19,750	20,000	20,000	
公共空間（公園、河川、道路）を活用した賑わい 創出イベント数（累計） [↑] 【出典：維持管理課、都市計画課】	件	目標値 6 (R1)	7	14	21	28	35	35	

評価	評価基準		
	達成度※1	総合評価※2	
よくできました	目標値以上	5点	5～4.5点
いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4～3.5点
もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4～2.5点
もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4～0点

総合評価



3.8点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

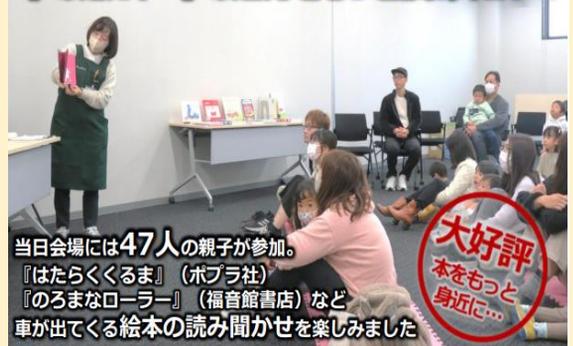
TOPICS

『GR Garage 袋井』との連携事業 出張としょかんを新たな会場で実施！

オートオークション会場と中古車小売店舗を併設し、町いちばんの楽しいクルマ屋さんを目指しているスポーツ中古車専門のGR Garage。

実車さながらのレーシング・シミュレーターで、リアルなドライビングも楽しめる県内外から人が集まる人気店を会場に「出張としょかん」を開催し、相互の新たな魅力発信に取り組みました。

出張としょかん×GR Garage袋井 車の魅力や本の魅力をもっと届けたい！



当日会場には47人の親子が参加。
『はたらくるま』（ポプラ社）
『のろまなローラー』（福音館書店）など
車が出てくる絵本の読み聞かせを楽しみました

大好評
本をもっと
身近に...

3-1 人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」

世代を問わず生涯を通じて全ての人が意向、能力、健康状態に応じて活躍できるまちをつくるため、就労・活躍機会の拡大、健康維持・増進、環境の整備等に取り組む。

(1) 生涯活躍のまちづくりプロジェクト

官民共創の基盤づくり推進事業では、人口減少と高齢化の進展による公助縮小下においても持続的な発展が可能な地域経営のあり方の実現に向けて、これまでの実証成果をもとに、社会連携推進の仕組みづくりとして「スマート共創コミュニティの構築に関する調査研究」に取り組んだ。また、市民の健康に対する意識や知識を高めるため、健康アプリの活用促進や地域での保健指導などに取り組んだ。

今後の課題は、**新たなコミュニティが生まれやすい仕組みづくりであり**、官民がつながり、対話ができるプラットフォームを基盤に、デジタルの要素も踏まえながら、生涯活躍できる地域社会の実現を目指していく。

主な取組

★ = デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

★官民共創の基盤づくり推進事業 [企画政策課]

官民共創ネットワークを運用。各機能ごとの仕組みの有効性を検討
 : ワーキンググループ、プロジェクトチーム、共創モニター、庁内ワーキング
 実証事業 : 4/27 あいのマルシェ、6/8・11/23 フクロイエキマチフェスタ、
 3/21・22 海プロフェスタ2025

・働く世代からの健康づくり [健康未来課・健康長寿課]

ふじのくに健康づくり推進事業所: 129事業所
 ゲートキーパー養成研修 : 開催日 2/7、参加者 43人
 健康度測定 : 全10回、延べ参加者数 51人
 #2961ウオークの推進 : 登録者数 6,737人
 ポイント付与増加キャンペーン
 アプリケーションに追加したクイズ機能を健康教育ツールとして活用

・健康リテラシーの向上 [健康長寿課・保健予防課]

ふくろい健康保健室 : 実施 83回、延べ参加者 2,110人
 おやご保健室 : 実施 33回、集団指導 232人、個別相談 169人
 みんなのよしみち保健室: 実施 10回、8店舗（市内のスーパーやドラッグストア等）
 延べ参加者数 1,391人
 出前健康教室 : 自治会・市民団体 47回、34か所、参加者数 1,078人
 事業所等 71回、24事業所、参加者数 3,529人



官民共創ワーキング



官民共創実証イベント
“海プロフェスタ2025”

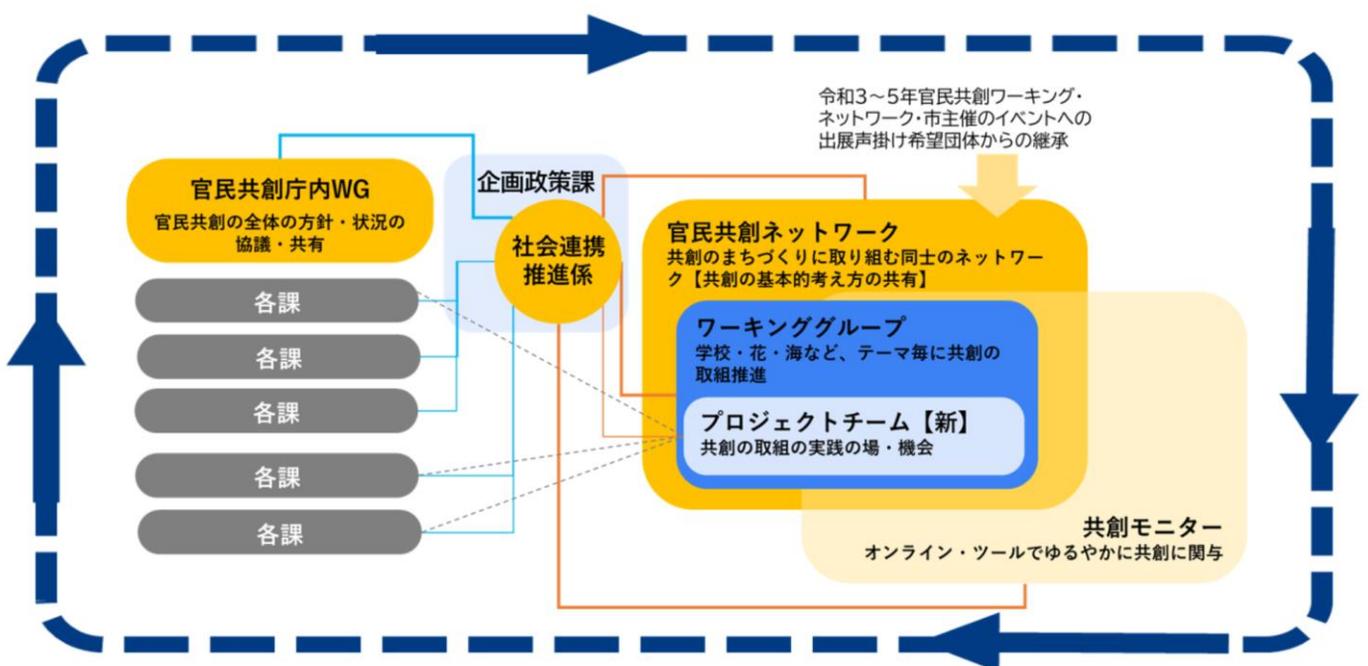


図 官民共創)庁内外ネットワークの全体像&施策起点サイクルのイメージ

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
お達者度（男性） [↑] 【R5～：お達者年齢】 【出典：総合計画、健康未来課】 ※R5～算出方法変更。今後、指標名変更の可能性あり	年	目標値	17.92	17.98	18.05	18.12	18.19	18.19	-
		17.78 (H28)	18.77 (H30)	19.19 (R1)	19.30 (R2)	81.4 (R3)	9月公表	R11目標値 82.5	
お達者度（女性） [↑] 【R5～：お達者年齢】 【出典：総合計画、健康未来課】 ※R5～算出方法変更。今後、指標名変更の可能性あり	年	目標値	21.34	21.41	21.49	21.57	21.65	21.65	-
		21.18 (H28)	21.54 (H30)	21.58 (R1)	22.21 (R2)	85.0 (R3)	9月公表	R11目標値 86.0	
（公社）袋井・森地域シルバー人材センターの就業延人員 [↑] 【出典：総合計画、産業未来課】	人	目標値	67,000	64,200	68,200	72,400	76,800	79,600	
		64,553 (H30)	55,916	56,337	60,255	57,983	56,971		
健康経営チャレンジ事業所数 [↑] 【R6～：ふじのくに健康づくり推進事業所数】 【出典：健康未来課】	事業所	目標値	160	200	210	220	230	230	
		70 (H30)	135	134	135	131	- 129	R11目標値 125	
袋井市が住みやすいと感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0	80.0	
		71.9 (H30)	71.4	72.9	73.3	73.7	73.7		

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1	総合評価※2	
よくできました		目標値以上	5点	5～4.5点
いい調子です		目標値未満～70以上	4点	4.4～3.5点
もうひと踏ん張り		70未満～基準値	3点	3.4～2.5点
もっとがんばろう		基準値未満	1点	2.4～0点

総合評価



3.3点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

市内9つの郵便局と 熱中症対策に係る協定締結！

市内9つの郵便局と令和6年8月に「気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に係る協定書」を締結しました。

熱中症警戒アラートの運用期間中、市内9郵便局のロビースペースを「クーリングシェルター」として市民の皆様へ開放します。

クーリングシェルターとは危険な暑さから避難できる場所として自治体が指定した施設。近年、熱中症になりやすい気象条件が続いていることから、本協定の締結に至ったものです。今後も、官民共創により、地域課題の解決に向けて取り組んでいきます。

熱中症対策×市内郵便局 クーリングシェルターとして開放 ～身近な“郵便局”を使って長い猛暑を乗り切ろう！～



市内の9つの郵便局と「気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に係る協定書」を締結。市民に身近な郵便局を「クーリングシェルター」として開放します。

3-2 支え合う多様な仲間づくり

高齢化の進展下、介護、子育て、防災などで互いに支え合えるまちをつくるため、コミュニティセンター等を拠点として日頃から安心できる仲間づくり、互助の仕組みづくりを進める。

(1) 支え合い・つながり創出プロジェクト

夏の交通安全県民運動時には、市と協定を結ぶスポーツチームと連携し、街頭指導及び市内小学校で啓発品の配布を行ったほか、地域コミュニティ活動の情報発信を強化するため、コミュニティセンターのLINE公式アカウントや地域版ホームページを活用した情報発信を行った。

今後の課題は、**コミュニティセンターを拠点とした地域コミュニティ活動の活性化**であり、地域活動やイベント情報を、SNS等を活用して情報発信するとともに、介護・子育て・防災等において、まちづくり協議会の活動を引き続き支援するなど、互いに支え合う互助・共助の体制づくりに取り組んでいく。

主な取組

★=デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

- ・ **特色ある地域づくりの推進** [協働まちづくり課]
 特色ある地域づくり交付金の活用：まちづくり協議会4地区（袋井東、笠原、浅羽西、幸浦）、計5事業
 まちづくり協議会交流会：開催日 2/8
- ★ **LINE公式アカウントを活用した情報発信の検証** [協働まちづくり課]
 14地区、登録者数：10,248人、情報発信数：1,039件
- ★ **地域版ホームページを活用した情報発信の検証** [協働まちづくり課]
 最新の情報や魅力的で情報発信力の高いページを市民に提供する等、コミュニティセンター等の活用に関与する情報を配信。
- ・ **地域公共交通「地域タクシー」の運行** [協働まちづくり課]
 袋井東地区：本格運行 4月～、利用登録者 334人、運行日数 240日、延べ利用者数 1,895人
- ・ **地域や学校等と連携した交通安全運動等** [協働まちづくり課]
 実施期間：4月～12月、街頭指導等実施回数：7回



まちづくり協議会交流会



交通安全に係る啓発活動

まちづくり協議会名	活動の名称
袋井東地区まちづくり協議会	いのちを守る防災隊
笠原地区まちづくり協議会	笠原地区防災減災力アップ事業
浅羽西地区まちづくり協議会	小さなおひなさま事業
	eスポーツで高齢者の健康づくり事業
幸浦地区まちづくり協議会	海のにぎわいづくりプロジェクト

特色ある地域づくり交付金活用事業

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
地区まちづくり協議会が新たに取り組んだ特色ある地域づくり活動の数(累計) [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業	目標値	5	10	15	20	25	30	
		5 (R2推計)	10	19	27	40	45		
NPO団体等が企業と連携し実施した事業数【再掲】 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	10	8	9	10	11	12	
		11 (H30)	1	8	12	13	6		
コミュニティセンターの利用者数 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	人	目標値	410,000	412,000	413,000	414,000	415,000	416,000	
		384,128 (H30)	207,168	219,436	261,892	299,919	292,838		
通いの場の箇所数(週1回以上の活動) [↑] 【出典：総合計画、健康未来課、健康長寿課】	箇所	目標値	70	75	80	85	90	93	
		70 (R2推計)	69	67	72	76	81		
総合健康センターでの総合相談件数 [↑] 【出典：総合計画、健康長寿課】	件	目標値	4,600	4,700	4,800	4,900	6,600	6,700	
		3,423 (H30)	5,317	5,689	6,044	5,741	3,593		
消防団員の充足率 [↑] 【出典：総合計画、危機管理課】	%	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		85.61 (R1)	81.2	81.2	77.9	74.4	71.1		
見守りネットワーク実施箇所数(自治会数) [↑] 【出典：健康長寿課】	箇所	目標値	65	68	71	74	106	110	
		62 (R1推計)	69	69	87	110	116		
地域の絆や支え合いの仕組みが形成されていると感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	55.0	55.0	60.0	65.0	70.0	70.0	
		50.6 (H30)	41.8	45.6	43.6	44.4	41.6		
仕事や家庭以外に所属するコミュニティがあると感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	55.0	55.0	60.0	65.0	70.0	70.0	
		54.0 (H30)	42.0	43.9	44.7	42.8	44.0		

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
よくできました		目標値以上	5点	5 ~ 4.5点
いい調子です		目標値未満~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点
もうひと踏ん張り		70未満~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点
もっとがんばろう		基準値未満	1点	2.4 ~ 0点

総合評価

2.4点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

ふくろいスマイル座談会を市内全14地区で開催！

2026年度から10年間のまちづくりの指針となる第3次総合計画の「地域編」の策定に向けて、袋井市長が地域に出向き、市民と意見を交わす「ふくろいスマイル座談会」を市内全14地区で開催しました。

市からは今後の人口減少や少子高齢化の進行を踏まえ、次期計画の全体構想についての見直しをはじめ、総合計画の「地域編」は官民が連携して取り組む地域づくりの方向性であることなどを説明しました。



3-3 多様性を強みとするまちづくり

外国人市民や障がい者、女性の活躍が期待される中、高齢者、学生あるいは地域外に住む関係人口など多様な価値観を尊重し、多様性を本市の魅力や発展への活力としていくため、多文化共生、男女共同参画等の取組を進める。

(1) 「共創社会」加速化プロジェクト

異文化への理解を深める講座や「やさしい日本語」研修会の開催や多文化共生情報紙「共生のトビラ」の発行をはじめ、地域役員などを対象とした「外国人との地域共生セミナー」を実施することで地域における多文化共生への意識を高めるとともに、「海外文化体験inふくろい」として台湾文化の「ランタン」をテーマに、台湾屏東県の協力を得ながら、装飾やパネル展示、クイズラリーなど、体験型の「海プロフェスタ2025」とのタイアップ事業として実施することで、異文化理解を深める取組を充実させた。また、女性の社会参画を推進するため、働く女性交流会などを開催した。

今後の課題は、**女性や障がいのある方、外国人市民など誰もが活躍できる場を増やすこと**であり、地域・事業者・行政がさらに連携し、性別や国籍、障がいの有無を問わず、誰もが地域に住む市民として暮らしやすい環境づくりの推進により、多文化や多様性を本市の魅力として、相互に共感できる共創社会の実現に取り組んでいく。

主な取組

★ = デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

★多文化共生の推進 [多文化共生推進課]

- ・多文化共生情報紙「共生のトビラ」発行：7月、3月発行（各6,300部）
- ・外国人との地域共生セミナー：第1回開催日 5/26、参加者 24人
第2回開催日 6/16、参加者 23人
第3回開催日 7/21、参加者 17人
- ・職員向け「やさしい日本語」研修会：開催日 8/7、参加者 85人
- ・外国人雇用・雇用予定企業向けウェビナー：開催日 11/12、参加者 59社
- ・多文化共生「FUPPY教室」：実施日 1/26、延べ参加者 22人

・異文化への理解を深める取組 [多文化共生推進課]

- 海外文化体験inふくろい：開催日 3/22、浅羽体育センター、海プロフェスタ2025
台湾茶の茶芸体験：53人、台湾コーヒーの試飲：128人、
台湾クイズ：約110人
- 子ども・若者海外留学支援事業：中学生 5人、高校生 5人、専門学生 1人
- Facebookでの情報発信：全投稿数 188件、フォロワー数 942人
- ハローフレンド（国際交流に関心のある市民）の募集：登録数 813人

・男女共同参画の推進 [協働まちづくり課]

- 働く女性交流会：全3回（開催日：12/18、1/23、2/5）
- 市内事業所訪問：訪問件数 14社、男性の育児休業取得の促進
- 「にじいろ階段」の設置：実施期間 5/13～7/1



働く女性交流会



「にじいろ階段」の設置



外国人との地域共生セミナー



はじめての日本語ひろば



海外留学支援事業

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
多文化共生を推進するための講座数 [↑] 【出典：総合計画、多文化共生推進課】	講座	目標値	10	13	13	14	14	15	
		12 (R1)	10	15	16	17	18		
外国人市民の防火防災啓発活動の参加率 [↑] 【出典：総合計画、袋井消防本部予防課】	%	目標値	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	10.0	
		1.9 (R2)	1.9	3.2	5.4	7.6	6.2		
障がい者の法定雇用率を達成している民間企業の割合 [↑] 【出典：総合計画、しあわせ推進課】	%	目標値	50.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
		36.5 (R1)	40.4	39.0	42.6	43.6	29.0		
「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業所	目標値	50	52	54	56	58	60	
		50 (H30)	53	54	58	58	59		
市の審議会等の女性委員の割合 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	%	目標値	40.0	37.5	38.1	38.7	39.3	40.0	
		36.3 (R1)	36.9	38.3	40.3	39.9	40.2		
合計特殊出生率 [↑] 【出典：総合計画、企画政策課】	-	目標値	1.84	1.86	1.89	1.91	1.93	1.95	-
		1.79 (H29)	1.57	1.54	1.42	1.44	公表後(県)		
袋井市が子どもを産み育てやすい環境だと感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	70.0	
		45.8 (H30)	45.5	50.5	48.7	44.1	43.2		

評価基準	評価	評価基準	
		達成度※1	総合評価※2
よくできました	目標値以上	5点	5 ~ 4.5点
いい調子です	目標値未満~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点
もうひと踏ん張り	70未満~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点
もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ~ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

3.2点

TOPICS

異文化交流の懸け橋になるために！

新たな国際交流員として着任したマイケル・ブランドリーさん（米国ジョージア州出身）は、市内幼稚園などで「ハローイングリッシュ（英会話教室）」や市民との交流イベントを積極的に企画・運営し、市民の国際感覚や異文化への理解を深めるために取り組みました。

今後も、異文化交流の懸け橋となれるよう、関係機関と協力し取り組んでいきます。

新たな国際交流員（6代目） 異文化交流の懸け橋に…



米国ジョージア州出身
マイケル・ブランドリーさん着任

市内幼稚園などで「英会話教室」や市民との交流イベントを積極的に企画・運営し、市民の国際感覚や異文化への理解を深める役割を期待

戦略を支える取組

総合戦略では、国の第2期総合戦略を勘案して基本目標を次のとおり定めています。
3つの挑戦と基本目標との対応表は以下のとおりです。

- 基本目標 1 活力みなぎる産業のあるまちづくり
- 基本目標 2 快適で魅力にあふれ、安全・安心に暮らせるまちづくり
- 基本目標 3 子どもがすこやかに育つまちづくり
- 基本目標 4 市民がいいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

3つの挑戦	重点戦略	基本目標			
		活力みなぎる産業のあるまちづくり	快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり	子どもがすこやかに育つまちづくり	市民がいいきと活躍し健康長寿で、暮らしを楽しむまちづくり
挑戦1 「ふくろい人」 ひとづくりへの挑戦	新しい時代を生き抜く人づくり			○	
	社会や産業を支える人づくり	○		○	
	挑戦する人を応援する土壌づくり	○		○	○
挑戦2 「しっかり稼ぐ」 しごとづくりへの挑戦	新たな産業と地域社会づくり	○	○		
	稼げる農業づくり	○			
	「ふくろい」ならではの暮らしづくり	○	○		
挑戦3 「支え合い」 誰もが活躍する まちづくりへの挑戦	人生100年時代「全世代が活躍する」まちづくり	○	○	○	○
	支え合う多様な仲間づくり			○	○
	多様性を強みとするまちづくり		○	○	○

業績指標の評価

(1) 活力みなぎる産業のあるまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
製造品出荷額等（従業員4人以上）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	億円	目標値	5,880	5,960	6,040	6,130	6,200	6,200	—
		5,880 (H29)	6,061 (R1)	5,727 (R2)	6,210 (R3)	7,468 (R4)	2月頃公表		
観光交流客数〔↑〕 【出典：総合計画、商業観光課】	千人	目標値	5,075	5,100	5,125	5,150	5,175	5,000	
		4,753 (H30)	2,403	3,320	4,145	4,528	4,885		
主要農産物産出額〔↑〕 【出典：総合計画、農政課】	億円	目標値	72.2	71.9	71.6	71.3	71.0	72.0	
		72.8 (H30)	66.0	70.7	70.4	71.6	70.7		

(2) 快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
地区計画などの実施面積 [↑] 【出典：総合計画、都市計画課】	ha	目標値	355	370	370	370	370	370	
		308 (H30)	355	355	355	389	389		
一人1日あたりの可燃ごみの排出量 [↓] 【出典：総合計画、廃棄物対策課】(R2~5) ※算出方法：総排出量(g/年)÷人口÷365	g	目標値	537	530	524	517	—	—	
		543 (H30)	556	523	491	464	—	—	
一人1日あたりの可燃ごみの排出量 [↓] 【出典：総合計画、廃棄物対策課】(R6~7) ※算出方法：可燃ごみ排出量(g/年)÷人口÷365	g	—	—	—	—	—	452	439	
		—	—	—	—	—	440		
河川改修延長の進捗 [↑] 【出典：総合計画、土木防災課】	m	目標値	502	625	765	855	995	1,142	
		258 (H30)	512	619	851	1,218	1,425		
人身事故件数 [↓] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	560	545	530	515	500	360	
		559 (R1)	446	513	503	515	445		

(3) 子どもがすこやかに育つまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
合計特殊出生率 [↑] 【出典：総合計画、企画政策課】	—	目標値	1.84	1.86	1.89	1.91	1.93	1.95	—
		1.79 (H29)	1.57	1.54	1.42	1.44	公表後 (県)		
保育所待機児童数 [↓] 【出典：総合計画、教育保育課】	人	目標値	0	0	0	0	0	0	
		58 (H30)	2	0	0	0	0		
全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合 (小6：国語・算数、中3：国語・数学) [↑] 【出典：学校教育課】	%	目標値	50.0	80.0	80.0	100.0	100.0	100.0	
		50.0 (R1)	中止	0	0	25.0	0		

(4) 市民がいきいきと活躍し健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
お達者度(男性) [↑] 【出典：総合計画、健康未来課】	年	目標値	17.92	17.98	18.05	18.12 82.50	18.19 82.50	18.19	—
		17.78 (H28)	18.77 (H30)	19.19 (R1)	19.30 (R2)	81.4 (R3)	9月公表		
お達者度(女性) [↑] 【出典：総合計画、健康未来課】	年	目標値	21.34	21.41	21.49	21.57 86.00	21.65 86.00	21.65	—
		21.18 (H28)	21.54 (H30)	21.58 (R1)	22.21 (R2)	85.0 (R3)	9月公表		
市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の割合 [↓] 【出典：総合計画、健康未来課】	%	目標値	10.4	10.3	10.2	10.1	10.5	10.4	
		10.5 (H30)	10.5 (R1)	10.3 (R2)	9.8 (R3)	10.6 (R4)	10.7 (R5)		
総合健康センターでの総合相談件数 [↑] 【出典：総合計画、健康長寿課】	件	目標値	4,600	4,700	4,800	4,900	6,600	6,700	
		3,423 (H30)	5,317	5,689	6,044	5,741	3,593		
自治会加入率 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	%	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
		85.3 (R1)	84.5	84.7	85.4	83.9	83.4		
協働まちづくりセンターの登録団体数(市民活動団体) [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	団体	目標値	50	50	50	50	50	50	
		53 (H30)	45	44	47	44	46		
「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業所	目標値	50	52	54	56	58	60	
		50 (H30)	53	54	58	58	59		

平成27年度 「地方版総合戦略の策定&先行的な取組」

第1弾

②6月補正⇒⑦全額繰越

総額：116,161千円

○交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【消費喚起・生活支援型】**

○事業費 **72,653千円(国費10/10)**

○交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分

○施策の概要

地域における消費喚起策「**元気はつらつクーポン券**」(プレミアム付き地域商品券)の発行

発行冊数：33,000冊、発行総額：396,000千円(プレミアム率20%/66,000千円)

○交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/基礎分】**

○事業費 **43,508千円(国費10/10)**

○交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分

○施策の概要

・「地方版総合戦略」の策定のほか、まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業

ICT教育の充実強化(電子黒板の導入)、子育て応援アプリの開発、観光情報の多言語化、全国メロンサミットの開催、クラウンメロンの海外輸出支援、シティプロモーションほか

第2弾

⑦11月補正

総額：20,000千円

○交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/上乘せ交付(タイプⅠ)】**

○事業費 **10,000千円(国費10/10)**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考

○施策の概要

・「3 Days Worker's Office構想」策定事業

「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組みづくり

○交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/上乘せ交付(タイプⅡ)】**

○事業費 **10,000千円(国費10/10)**

○交付要件 地方版「総合戦略」を10月末までに策定した自治体に交付(施策の推進費)

○施策の概要

・まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業

ICT教育の充実強化(電子黒板導入校の拡大)、タブレットを活用した学習支援の社会実験
袋井商業高等学校の5年制化の推進、アクティブ育児応援プログラム

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「3 Days Worker's Office構想」実装化事業

- ・基礎調査(㉔実施)により抽出された課題整理と制度の詳細設計、推進協議会の開催
- ・「仕事の切り出し」や「シフトの組み方」など好事例の実践

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「グローバル戦略」加速化事業

- ・TPPを見据えたクラウンメロンの輸出促進
新興国市場での需要喚起と販路拡大(トップセールス、海外バイヤー招聘ほか)
- ・ラグビーW杯を見据えた訪日外国人観光客のおもてなし環境整備
市民の英語力向上(英検受験助成ほか)、ふくろい版ホームステイ、シティプロモーション

平成28年度 「本格的な地方創生事業の推進」

- 交付金名 **地方創生推進交付金(1年目/H28-30) <第39回地域再生計画認定>**
- 事業費 **50,000千円(国費1/2)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
市PR動画作成・首都圏プロモーション、サテライトオフィスの実証実験 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、クラウドファンディング推進 など
- ・人材育成/I T教育や観光教育の充実強化
I C T教育の充実強化(電子黒板導入校の拡大)、ロボットプログラミング教育支援 など

- 交付金名 **地方創生拠点整備交付金<第41回地域再生計画認定>**
- 事業費 **16,000千円(国費1/2)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

地域の縁側づくり「ENGAWAマーケット@浅西」実施計画

- ・縁側づくり(事務室の増築)と土間(庇)の設置
ENGAWA(事務室)ヒトとコトの交流ゾーン/DOMA(庇)モノの交流ゾーン
- ・備品購入(老朽化した味噌づくり用自動発酵機等の備品更新)

第6弾 ⑳当初

総額：50,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（2年目／H28－30）＜第39回地域再生計画認定＞

○事業費 50,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
ふくろい版ホームステイ、クラウンメロンのブランド力向上、健康アプリ作成 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

第7弾 ㉑交付（国委託事業）

総額：20,004千円

○事業名 生涯現役促進地域連携事業（1年目／H29－31）

○事業費 20,004千円（国費10／10）

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第8弾 ㉒当初

総額：50,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H29－30）＜第39回地域再生計画認定＞

○事業費 50,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・特産物やラグビーW杯を契機にした誘客活動や商品造成、IT企業と連携した働き方改革の実践
ふくろい版ホームステイ、ラグビー開催に向けた機運醸成、インバウンド観光推進 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **132,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション、農産物お土産開発、産業経済懇話会 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **67,600千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業（2年目／H29－31）**

○事業費 **20,099千円（国費10／10）**

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第11弾

㊦当初

総額：195,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **138,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション・ライトアップ、自動運転走行実証 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **57,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第12弾

㊦交付（国委託事業）

総額：20,108千円

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業（3年目／H29－31）**

○事業費 **20,108千円（国費10／10）**

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第13弾 ②当初

総額：151,500千円

○交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H30－R2）〈第47回地域再生計画認定〉

○事業費 95,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
夜宵プロジェクト、ミズベリング、サイクルロードレース、自動運転走行実証 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯関連事業、ICT・SNSを活用したシティプロモーション など

○交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H30－R2）〈第47回地域再生計画認定〉

○事業費 56,500千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第14弾 ②9月補正

総額：30,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（1年目／R2－R4）〈第57回地域再生計画認定〉

○事業費 30,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した実証事業

令和3年度 「地方創生の充実・強化」

第15弾 ③当初

総額：116,000千円

- 交付金名 地方創生推進交付金（2年目／R2－R4）〈第57回地域再生計画認定〉
- 事業費 **116,000千円**（国費1／2）
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究、フッピ－健康ポイント など
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した地域課題解決、地域コミュニティ情報発信 など
- ・多様性を強みとするまちづくりへの挑戦
まちの国際化、小中学校英語力向上、青少年指導者養成 など

令和4年度 「デジタル田園都市国家構想を見据えた総括」

第16弾 ④当初

総額：116,000千円

- 交付金名 地方創生推進交付金（3年目／R2－R4）〈第57回地域再生計画認定〉
- 事業費 **116,000千円**（国費1／2）
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究、フッピ－健康ポイント など
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した地域課題解決、地域コミュニティ情報発信 など
- ・多様性を強みとするまちづくりへの挑戦
まちの国際化、小中学校英語力向上、青少年指導者養成 など

令和5年度 「官民共創の仕組みづくり検討に向けた仮説の設定～マインドセットと課題認識の目揃え～」

第17弾 ⑤9月補正

総額：10,000千円

- 交付金名 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）（1年目／R5－R7）
〈第68回地域再生計画認定〉
- 事業費 **10,000千円**（国費1／2）
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「“ふくろい版”共創のまちづくり推進事業」 ～地域DXを見据えた新たな自治体経営への挑戦～

- ・官民共創の定常化、一般化、自律化に向けた仕組みづくりへの挑戦
人口動態や地域経済など現状や課題の把握と共有する事業
- ・官民共創のまちづくり推進のための人づくりへの挑戦
スタートアップ企業らとのネットワーク構築

第18弾

⑥当初

総額：38,100千円

○交付金名 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）（2年目／R5-R7）

＜第68回地域再生計画認定＞

○事業費 38,100千円（国費1/2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「“ふくろい版”共創のまちづくり推進事業」 ～地域DXを見据えた新たな自治体経営への挑戦～

- ・官民共創の定常化、一般化、自律化に向けた仕組みづくりへの挑戦
人口動態や地域経済など現状や課題の把握と共有する事業
- ・官民共創のまちづくり推進のための人づくりへの挑戦
スタートアップ企業らとのネットワーク構築

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと・創生会議

地方創生の実現に向けた取組の加速・深化を目的として、各々の専門分野から幅広く意見をいただくとともに、政策立案に向けた議論を行うため、市内（県内）及び首都圏で幅広く活躍されている産学官の代表者らにより構成する「ふくろい部会」・「首都圏部会」、市内金融機関等の支店長により構成する「金融機関支店長会議」を次のとおりそれぞれ設置し、会議を開催している。

(1) 地方創生会議委員名簿 (R7.7未現在/順不同・敬称略)

[ふくろい部会]

所 属	役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名
RealLabo (料理講師、ITサポート)	代表	足立美和	農林環境専門職大学	学長	鈴木滋彦
山名学園山名幼稚園	理事長	諸井理恵	袋井商工会議所	会頭	豊田浩子
安間製茶	代表	安間孝介	静岡理工科大学	学長	木村雅和
(株)ウェッジ	代表	大場和明	アスリートクラブ	主宰	岡田千詠子
日本貿易振興機構 (JETRO浜松)	所長	中本健一	静岡大学情報学部	教授	遊橋裕泰

[首都圏部会]

所 属	役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名
(株)朝日新聞社	監査役	足立直樹	(株)ココカラファイン グループ	代表取締役社長	塚本厚志
(株)大和総研	主席研究員	内野逸勢	イービストレード(株)	代表取締役社長	寺井良治
(株)ロート製薬	執行役員	末延則子	(株)大和コンピューター	代表取締役社長	中村憲司
(株)三菱総合研究所	主席研究員	北井涉	楽天損害保険(株)	常務執行 役員	幡鎌大介
学校法人国際文化アカデミー JTBツーリズムビジネスカレッジ	常務理事兼 総務部長	鈴木良照	(株)コクーン	取締役兼 プロデューサー	松本朋丈
(株)JSOL	代表取締役 兼専務執行役員	名倉明彦			

[金融機関支店長会議]

静岡銀行	スルガ銀行	清水銀行	静岡県労働金庫	浜松磐田信用金庫
島田掛川信用金庫	遠州中央農業協同組合	日本政策金融公庫		

(2) 地方創生会議開催状況

【ふくろい部会（委員：6人【～H30】、11人【R元～】）】

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.19（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.21（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン（素案）②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.6.29（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	H29.6.28（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.6.27（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	R元.7.8（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	R2.2.13（木）	袋井市役所	第2期総合戦略素案について、意見交換
8	R2.7.6（月）	袋井新産業会館	地方創生事業評価、アフターコロナの経済社会に向けた成長戦略について意見交換
9	R3.11.8（月）	袋井新産業会館	地方創生事業評価、アフターコロナの社会について意見交換
10	R4.7.21（木）	袋井教育会館	地方創生事業評価、アフターコロナの社会について意見交換
11	R5.7.31（月）	袋井教育会館	地方創生事業評価、人口減少社会における今後のまちづくりについて意見交換
12	R6.7.30（火）	書面開催	地方創生事業評価、「袋井市人口ビジョン2060」について意見聴取
13		書面開催	地方創生事業評価、第三次総合計画及び第三次総合戦略について意見交換

【首都圏部会（委員：11人）】

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.12（火）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.31（金）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン（素案）②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	H29.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.7.3（火）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	R元.7.1（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	R2.2.12（水）	NIPPON GALLERY	第2期総合戦略素案について、意見交換
令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により個別に意見聴取			
8	R4.12.21（水）	東京グリーンパレス	地方創生事業評価、意見交換
9	R5.12.20（水）	全国町村会館	地方創生事業評価、意見交換
令和6年度は第3次総合計画の策定等の機会により個別に意見聴取			

(2) 地方創生会議開催状況

[金融機関支店長会議 (委員：8人)]

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.26 (火)	袋井市役所	袋井版「総合戦略」策定方針について
2	H27.7.29 (水)	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン (素案) ②政策パッケージ (骨子案)
3	H27.10.20 (金)	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン②総合戦略/政策パッケージ
4	H28.3.2 (水)	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について (調査依頼)
5	H28.7.22 (金)	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について
6	H29.2.15 (水)	袋井市役所	平成29年度当初予算の概要について、3 Days Worker's Office構想について
7	H29.11.1 (水)	袋井市役所	平成28年度地方創生取組結果の概要政策立案に向けた意見交換
8	H30.8.23 (木)	袋井市総合センター	平成29年度地方創生取組結果及び平成30年度取組の概要政策立案に向けた意見交換
9	R元.7.17 (水)	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
10	R2.3.2 (月)	袋井市総合センター	第2期総合戦略素案について、意見交換
11	R2.7.15 (火)	袋井市役所	地方創生事業評価、アフターコロナの経済社会に向けた成長戦略について意見交換、地方創生の推進に係る連携協定について意見交換
12	R3.12.10 (金)	袋井市役所	地方創生事業評価、地域の現状と国の新たな経済対策を踏まえた今後の展開方策について意見交換
13	R4.8.24 (水)	袋井市役所	地方創生事業評価、ふるさと納税制度の仕組みを活用した、「稼ぐチカラ」のある市内事業者の育成に向けた意見交換
14	R5.9.14 (木)	袋井市役所	地方創生事業評価、アフターコロナにおける地域経済の動向について、外国人労働者を含めた人材確保の対策として市内事業者が取り組んでいる実態について意見交換
15	R6.8.7 (水)	袋井市役所	地方創生事業評価、「袋井市人口ビジョン2060」について意見交換
16	R7.8.7 (木)	袋井市役所	地方創生事業評価、第三次総合計画及び第三次総合戦略について意見交換

地方創生の実現に向けた「政策勉強会」

地方創生の実現に向け、時代をリードする新技術や価値観などに携わる有識者を招聘し、知識を深めるとともに、政策立案につなげていくことを目的として、市長をはじめ、庁内幹部職員及び市議会、商工会議所等関係団体を対象とした「政策勉強会」を開催している。

No.	開催日	場所	内容
1	H27.12.19 (土)	エコパ スタジアム	ラグビーワールドカップの魅力について 【講師】ラグビーワールドカップ2019組織委員会 事業部長 伊達亮氏 メガスポーツイベントを契機とした新たなまちづくり 【講師】EY総合研究所(株) 未来社会・産業研究部長 小川高志氏
2	H28.1.21 (木)	袋井市役所	労働市場の今後と政策課題 ～高齢者就労の実態～ 【講師】(株)リクルートワークス研究所 主任研究員 戸田淳仁氏
3	H28.2.18 (木)	袋井市役所	ホームステイ×まちの国際化～我が家は、ときどきインターナショナル～ 【講師】Homestay in Japan/(株)ネクステージ 代表取締役 竹島千歳氏
4	H28.11.9 (水)	袋井市役所	I C Tまちづくりの近況と今後の展望について 【講師】東京大学大学院情報学環 教授 須藤修氏
5	H29.9.1 (金)	袋井市役所	シェアリングエコノミーをめぐる近況と今後の展望について 【講師】(一社)シェアリングエコノミー協会 内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 積田有平氏
6	H30.12.25 (火)	袋井市役所	変化の激しい時代を生きる子ども達のこれからの教育とは 【講師】小金井市立前原小学校校長 松田孝氏、 Google Japan Google for Education マーケティング統括部長 スチュアート・ミラー氏
7	H31.3.15 (金)	袋井市役所	地域所得力調査の結果から見る袋井の現状と課題 【講師】(一財)静岡経済研究所調査研究部長 山田慎也氏
8	R1.6.25 (火)	袋井市役所	塩尻市に見る産学官民による地域I C Tの推進 【講師】総務省地域情報化アドバイザー 金子春雄氏
9	R1.12.17 (火)	袋井市役所	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 主席研究員 山崎清氏
10	R3.11.9 (火)	袋井市役所	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 主席研究員 山崎清氏
11	R4.12.14 (水)	袋井新産業会館	若年層の就業観と“働きがい”を測るワーク・エンゲージメントの実態 【講師】(株)静岡総合研究所 主席研究員 岩間晴美氏
12	R5.11.22 (水)	袋井市教育会館	デジタル社会の光と影について 【講師】個人情報保護委員会事務局(国際担当) 参事官補佐 山本明央氏 N T Tコミュニケーションズ(株) 主査 鈴木一生氏
13	R6.9.18 (水)	袋井新産業会館	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 事業開発部長 鴨志田武史氏

金融機関との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

地方創生の実現に向け、各々の強みを活かした特色ある連携や取組を展開するため、次のとおり個別に「取組テーマ」を設定し、連携協定を締結した。

(1) 連携協定の状況

No.	金融機関名	調印日	取組テーマ
1	磐田信用金庫	H27.9.7	「農業」と「食」に関すること (例) 新規就農者等の創業支援
2	静岡銀行	H28.1.19	「健康」をキーワードにした施策連携 (例) 産業×健康づくりほか
3	浜松信用金庫	H28.1.21	アウトバウンド戦略とインバウンド戦略 (例) 農産物の海外輸出と観光PR
4	掛川信用金庫	H28.2.15	潜在的な労働力の発掘 (例) 女性の活躍などの創業支援
5	遠州中央農業協同組合	H28.2.18	競争力のある商品づくり (例) ふるさと納税返礼品の充実
6	スルガ銀行	H28.3.14	まちの賑わいづくり (例) 空き店舗の利活用
7	静岡県労働金庫	H28.3.17	若者〔勤労者〕の定住促進 (例) 住まい方など将来設計への助言
8	清水銀行	H28.3.25	地域を担う人材育成の推進 (例) 実践的な金融経済教育の普及

(2) 金融機関との連携による取組事例

■ 共通事項 (全ての金融機関が参画)

- ・ 地域内就労需要供給実態調査
- ・ 金融機関支店長会議

■ 個別事項

- ・ 磐田信用金庫 特産品PRイベント仲介 (山口県宇部市)
- ・ 静岡銀行 地方創生特設PRブース設置 (袋井支店)
- ・ 浜松信用金庫 クラウンメロンのタイ輸出支援
クラウドファンディング推進
- ・ 遠州中央農業協同組合 農協祭での健康づくりPR
- ・ スルガ銀行 法多山門前再興プロジェクト
- ・ 静岡県労働金庫 ろうきん遠友会住宅フェスティバルでの定住PR

民間企業等との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

No.	企業等名	調印日	取組テーマ
1	凸版印刷(株)	R3.1.29	ICTの推進、市民サービスの向上、地域の産業振興・中小企業の支援、地域づくり・地域活性化 など
2	袋井商業高校、袋井高校、特別支援学校	R3.12.23	社会教育及び学校教育の充実や人材育成、まちづくりへの参画、地域産業の振興及び新産業の創出、地域づくり・地域活性化 など
3	あいおいニッセイ同和損害保険(株)浜松支店	R5.1.27	地域・暮らしの安全・安心、防災・災害対策、健康増進・介護支援、産業振興・中小企業支援、文化・スポーツ振興 など

外部人材の登用

No.	分野	氏名	役職	派遣元	任期
1	ICT	山本 明央	理事	総務省	H31.4~R3.7
2	デジタル	鈴木 一生	専門官	(株)NTTドコモ	R2.4~R4.3
3	ICT教育	柏 萌 菜美	専門官	凸版印刷(株)	R3.4~R4.3
4	ICT教育	一ノ宮美香	専門官	凸版印刷(株)	R3.4~R5.3
5	シティプロモーション	神谷 高宏	専門官	(株)JT B	R4.4~R6.3
6	ICT	小 俣 一 樹	専門官	(株)NTTドコモ	R4.4~R6.3
7	ICT	鳴 瀬 邦 彦	専門官	コニカミノルタパブリテック(株)	R4.4~R6.3
8	ICT	平 山 高 士	専門官	(株)日立システムズ	R4.4~

外部人材の登用

No.	分野	氏名	役職	派遣元	任期
9	ICT兼産業	家中 耕一	専門官	(株)フォーバル	R5.4～
10	ICT	樽見 寧	戦略官	富士通Japan(株)	R6.4～
11	シティプロモーション	森 敬広	専門官	(株)JTB	R6.4～
12	ICT	澤田 誠二	専門官	コニカミノルタパブリテック(株)	R6.4～R7.3

挑戦する人と応援するまち



ふくろい
FUKUROI